



BMW Motorrad



駆けぬげる歓び

Rider's Manual  
**F 700 GS**

## モーターサイクル / ディーラーのデータ

### モーターサイクルデータ

---

モデル

---

フレーム番号

---

カラー

---

初度登録

---

ライセンスプレート

### ディーラーデータ

---

アフターサービス担当者

---

氏名

---

TEL

---

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

## BMWの世界へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございます。世界中で多くの熱狂的なファンを持つ BMW Motorrad ライダーの一員となられたことを心から歓迎いたします。

あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入されたモーターサイクルをよく理解し、親んでいただくことが大切です。

BMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。

また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。

疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合

は、BMW Motorrad ディーラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

01 49 8 532 293



# 目次

特定の項目についてお探しの際には、巻末の索引もご利用ください。

<b>1 一般的な情報</b> .....	<b>5</b>
全体図 .....	6
記号と意味 .....	6
装備 .....	7
仕様（諸元） .....	7
本書の記述について .....	7
<b>2 全体図</b> .....	<b>9</b>
左側面 .....	11
右側面 .....	13
シート下 .....	14
フェアリングの下 .....	15
左コンビネーションスイッチ .....	16
右コンビネーションスイッチ .....	17
メーターパネル .....	18

<b>3 表示</b> .....	<b>19</b>
マルチファンクションディスプレイ .....	20
記号（マーク / アイコン）の意味 .....	21
警告灯 / インジケーター .....	22
フューエルレベル .....	23
フューエルリザーブ容量 .....	23
サービス表示 .....	23
周囲温度 .....	24
警告表示 .....	24
<b>4 操作</b> .....	<b>33</b>
イグニッションスイッチ / ステアリングロック .....	34
電子式イモビライザー (EWS) .....	35
時計 .....	35
表示 .....	36
ストップウォッチ .....	37
ライト .....	39
ウインカー .....	40
ハザードランプ .....	40

イグニッションキルスイッチ .....	41
グリップヒーター .....	41
BMW Motorrad ABS .....	42
BMW Motorrad ASCASC .....	43
クラッチ .....	44
ブレーキ .....	44
ミラー .....	45
スプリングプリロード .....	46
ショックアブソーバー .....	47
電子調整式サスペンション (ESA) .....	48
タイヤ .....	49
ヘッドライト .....	50
シート .....	50
ヘルメットホルダー .....	51
Rider's Manual .....	52
<b>5 走行</b> .....	<b>55</b>
安全に関する注意事項 .....	56
チェックリスト .....	58
始動 .....	59
慣らし走行 .....	61

回転数 .....	62	クラッチ .....	93	燃料 .....	128
オフロード走行 .....	62	リムとタイヤ .....	94	エンジンオイル .....	129
ブレーキ .....	63	チェーン .....	95	クラッチ .....	130
駐車する .....	64	ホイール .....	97	ギヤボックス .....	130
給油 .....	65	フロントホイールスタンド .....	104	リヤホイールドライブ .....	131
モーターサイクルを搬送用に固定する .....	66	バルブ .....	105	サスペンション .....	131
<b>6 技術情報 .....</b>	<b>69</b>	フェアリング部 .....	111	ブレーキ .....	132
ブレーキシステム (BMW Motorrad ABS 装備) .....	70	エアクリナー .....	112	ホイールとタイヤ .....	133
エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装備) .....	71	ジャンプスタート .....	113	電装システム .....	134
<b>7 アクセサリー .....</b>	<b>75</b>	バッテリー .....	114	フレーム .....	136
一般的な情報 .....	76	<b>9 お手入れ .....</b>	<b>119</b>	寸法 .....	136
電源ソケット .....	76	ケア用品 .....	120	重量 .....	137
荷物 .....	77	洗車 .....	120	性能 .....	138
ケース .....	77	損傷しやすい車両部品の お手入れ .....	120	<b>11 サービス .....</b>	<b>139</b>
トップケース .....	80	塗装のお手入れ .....	121	リサイクリング .....	140
<b>8 メンテナンス .....</b>	<b>85</b>	保護コーティング .....	122	BMW Motorrad サービス .....	141
一般的な情報 .....	86	長期保管 .....	122	BMW Motorrad モバイル サービス .....	142
ツールキット .....	86	再使用 .....	122	メンテナンス作業 .....	142
エンジンオイル .....	87	<b>10 仕様 (諸元) .....</b>	<b>123</b>	点検記録 .....	143
ブレーキシステム .....	89	トラブルシューティング .....	124	一般整備記録 .....	148
クーラント .....	92	ネジ止め部 .....	125	<b>12 索引 .....</b>	<b>150</b>
		エンジン .....	127		



## 一般的な情報

全体図 .....	6
記号と意味 .....	6
装備 .....	7
仕様（諸元） .....	7
本書の記述について .....	7

## 全体図

本書の第2章には、ご使用になられるモーターサイクルの全体図があります。第11章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。

## 記号と意味

 ライダーとその周囲の人々の安全のため、また、モーターサイクルを損傷から守るために、必ず注意すべき警告を示します。

 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

◀ 注意事項の末尾を示します。

• 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。

➡ 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。

 締め付けトルク

 テクニカルデータ

OE メーカーオプションリスト (BMW が用意するライン装着可能なオプション)

BMW オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で装着されます。

OA アクセサリー (BMW が用意する後付けアクセサリーリスト)

BMW アクセサリーのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承ります。

EWS 電子式イモビライザー。

DWA 盗難警報装置

ABS アンチロックブレーキシステム

ASC オートマチックスタビリティコントロール (ASC)

ESA Electronic Suspension Adjustment  
電子調整式サスペンション (ESA)

RDC タイヤ空気圧コントロール

## 装備

BMW Motorrad のご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション (OE) および選択したアクセサリー (OA) について説明されています。そのため、あなたのモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示され

ているモーターサイクルと異なる場合があります。

本書で説明されていない BMW 装備品につきましては、別冊の説明書をご覧ください。

## 仕様 (諸元)

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、ドイツ工業規格 (DIN) およびその許容差規定に基づいて表記されています。国によって仕様が異なる場合があります。

## 本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、

説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。



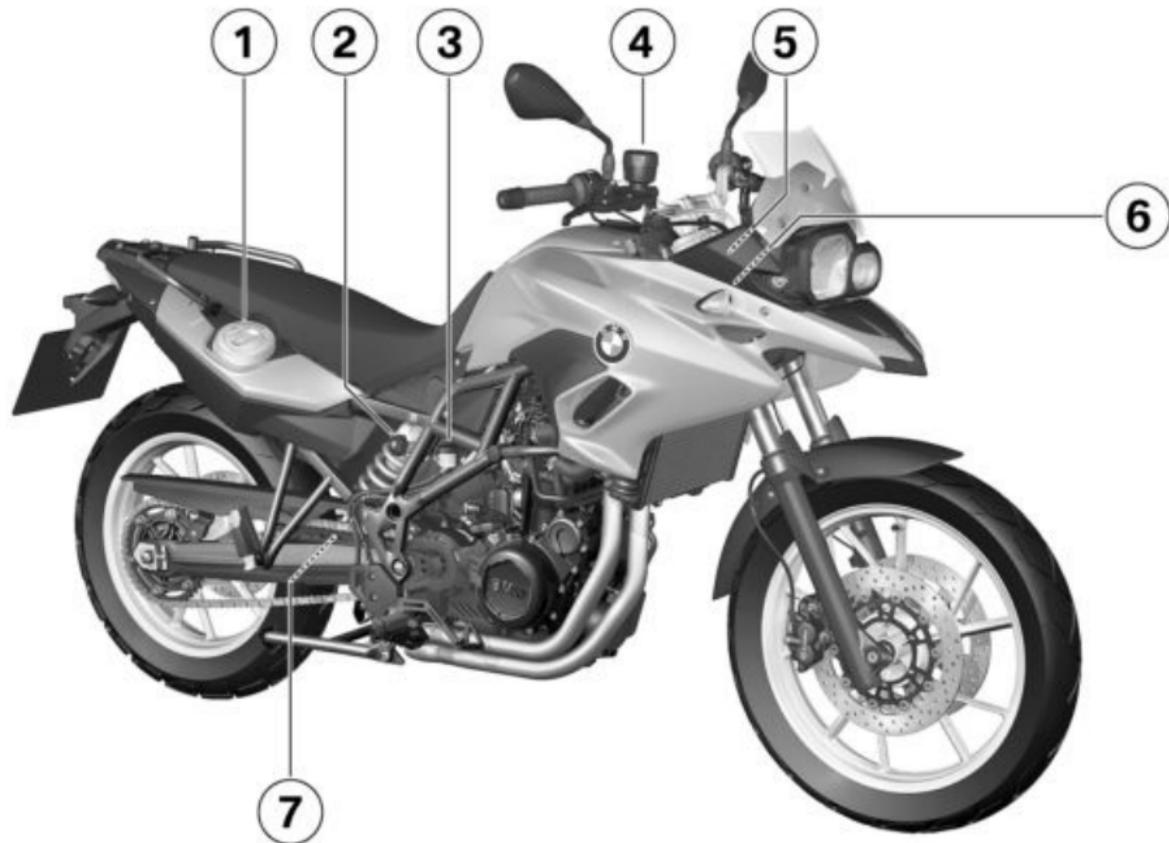
**全体図**

左側面 .....	11
右側面 .....	13
シート下.....	14
フェアリングの下 .....	15
左コンビネーションスイッチ.....	16
右コンビネーションスイッチ.....	17
メーターパネル.....	18



## 左側面

- 1 電源ソケット (▶▶▶ 76)
- 2 シートロック (▶▶▶ 50)
- 3 エンジンオイルフィルターおよびオイルレベルゲージ (▶▶▶ 87)

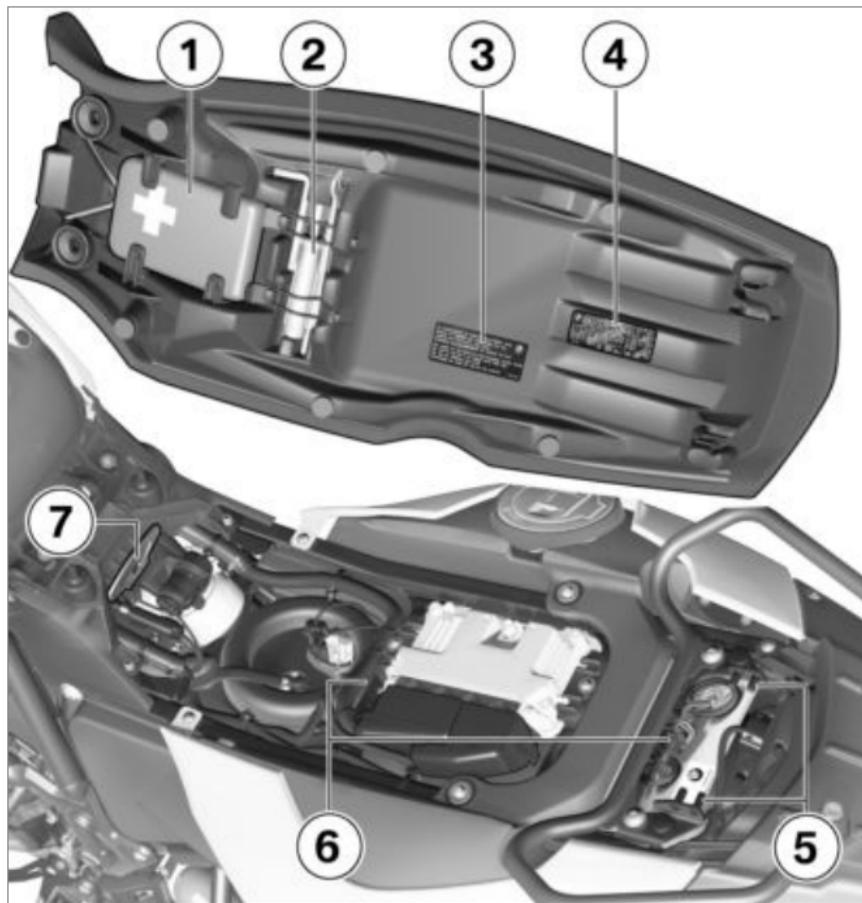


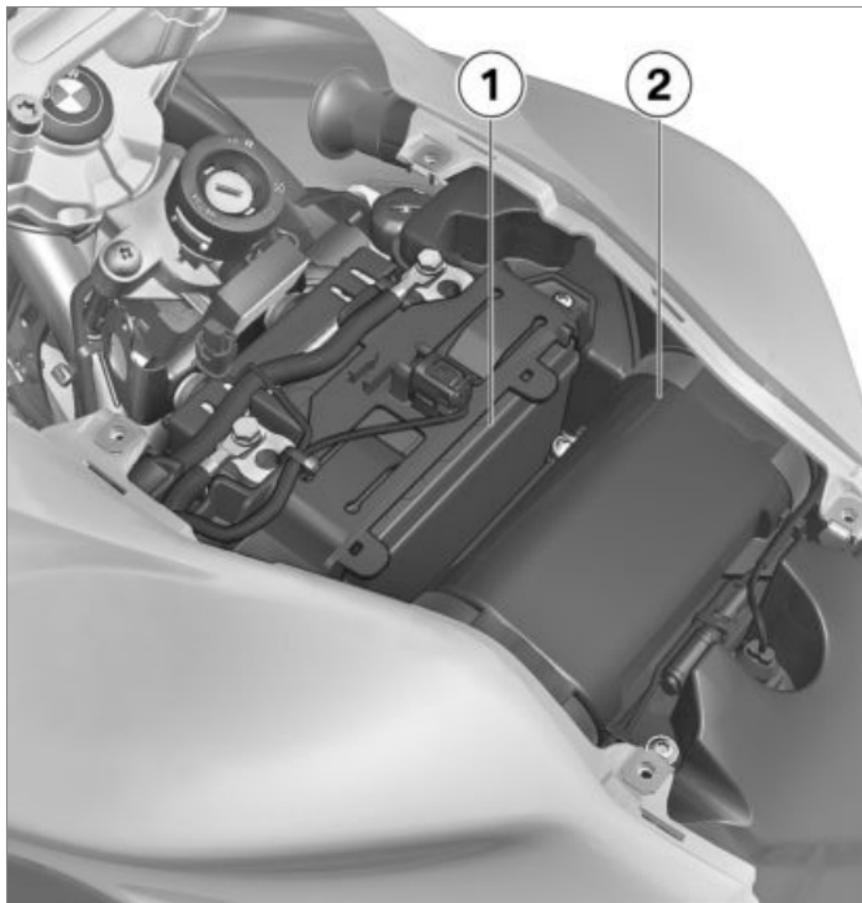
## 右側面

- 1 フューエル注入口 (▶▶▶▶ 65)
- 2 スプリングプリロードの調整 (▶▶▶▶ 46)
- 3 リヤブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶▶ 91)
- 4 フロントブレーキフルードリザーバータンク (▶▶▶▶ 90)
- 5 フレーム番号、型式プレート (ステアリングヘッドベアリングで)
- 6 クーラントレベル表示 (サイドフェアリングの後ろ) (▶▶▶▶ 92)
- 7 ショックアブソーバーの調整 (▶▶▶▶ 47)

## シート下

- 1 ストレージコンパートメント  
- 救急キット<sup>OA</sup> 装備  
救急キットの収納場所
- 2 標準ツールキット (▶▶▶ 86)
- 3 積載荷重一覧
- 4 タイヤ充填圧表
- 5 ヘルメットホルダー (▶▶▶ 51)
- 6 Rider's Manual (車体後部)  
- 盗難警報装置<sup>OE</sup> 装備  
Rider's Manual (コントロールユニットの下) (▶▶▶ 52)
- 7 スプリングプリロードの調整用ツール (▶▶▶ 46)





## フェアリングの下

- 1 バッテリー (⇒ 114)
- 2 エアクリーナーハウジング (⇒ 112)

## 左コンビネーションスイッチ

- 1 ハイビームとパッシングライト (▶▶▶ 39)
- 2 表示を選択する (▶▶▶ 36).  
- オンボードコンピューター<sup>OE</sup> 装備  
平均値をリセットする (▶▶▶ 37).
- 3 ハザードランプ (▶▶▶ 40)
- 4 ウィンカーの操作 (▶▶▶ 40)
- 5 ホーン
- 6 - ESA<sup>OE</sup> 装備  
ESA の操作 (▶▶▶ 48)
- 7 ABS の操作 (▶▶▶ 42)  
- ASC<sup>OE</sup> 装備  
ASC の操作 (▶▶▶ 43)



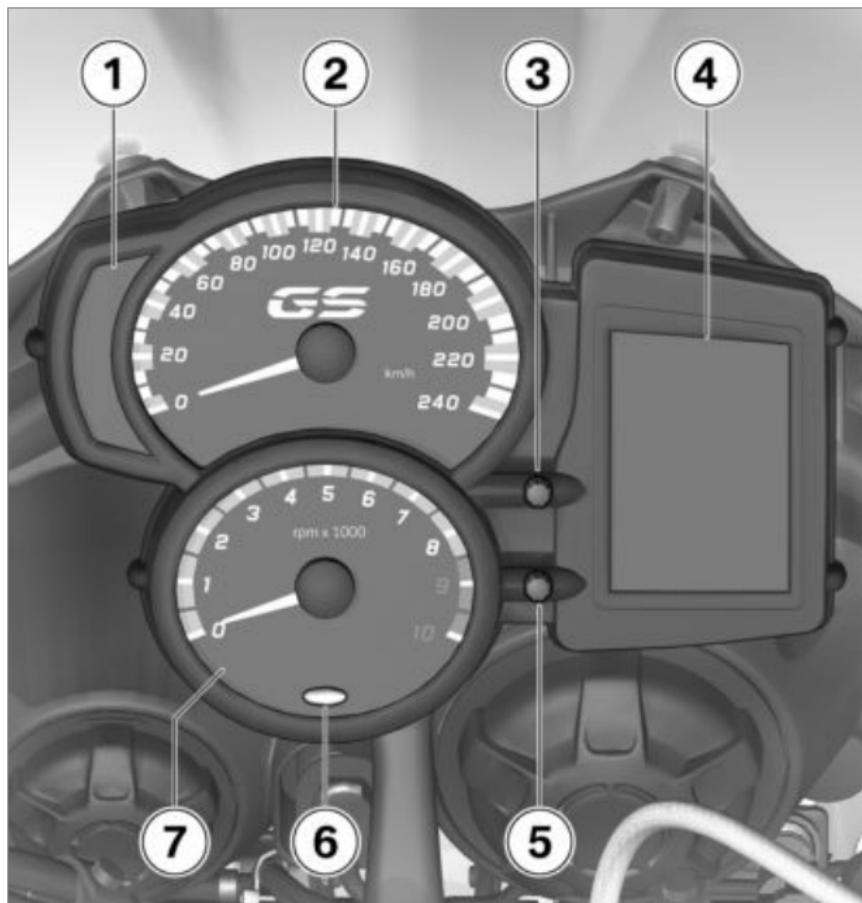


## 右コンビネーションスイッチ

- 1 - グリップヒーターOE  
装備  
グリップヒーターの操作  
(▶▶▶ 41)
- 2 スターターボタン (▶▶▶ 59)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶▶ 41)

## メーターパネル

- 1 警告灯 / インジケーター (▶▶▶▶ 22)
- 2 スピードメーター
- 3 時計を調整する (▶▶▶▶ 35).  
- オンボードコンピューターOE 装備  
ストップウォッチの操作 (▶▶▶▶ 37)
- 4
- 5 表示を選択する (▶▶▶▶ 36).  
トリップメーターをリセットする (▶▶▶▶ 37).
- 6 周囲輝度センサー (メーターパネルライトの輝度調整用)  
- 盗難警報装置OE 装備  
DWA 警告灯 (DWA 取扱説明書を参照)  
- オンボードコンピューターOE 装備  
エンジン回転数警告 (▶▶▶▶ 62)
- 7 エンジン回転数表示

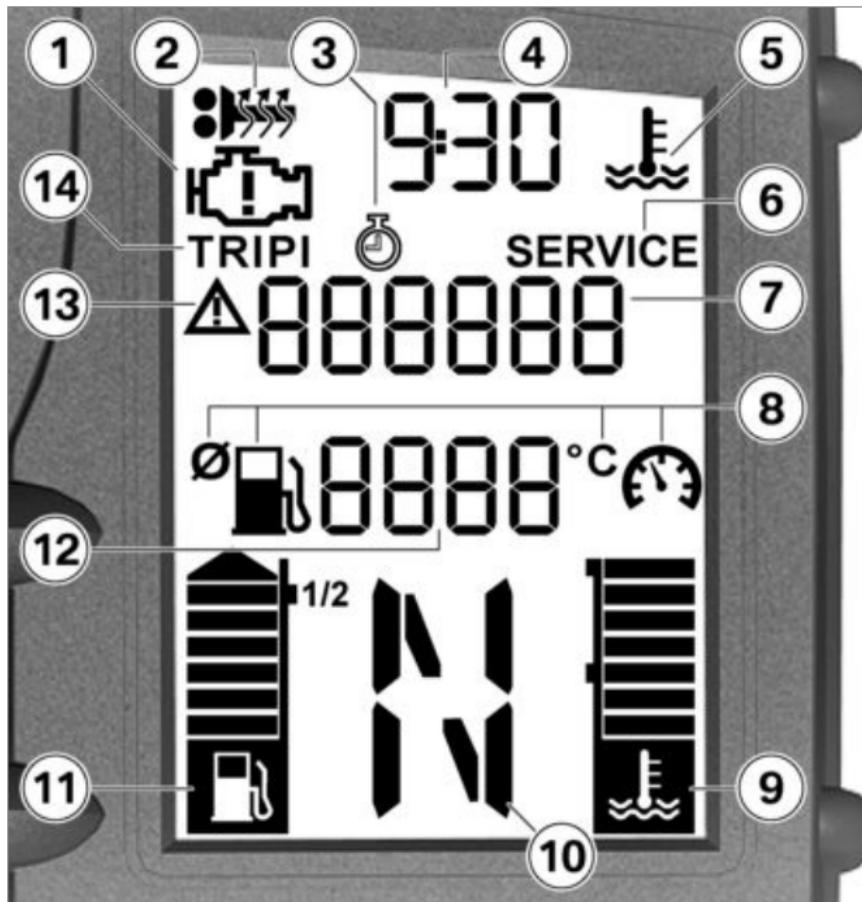


## 表示

マルチファンクションディスプレイ .....	20
記号 (マーク / アイコン) の意味 .....	21
警告灯 / インジケーター .....	22
フューエルレベル .....	23
フューエルリザーブ容量 .....	23
サービス表示 .....	23
周囲温度 .....	24
警告表示 .....	24

## マルチファンクションディスプレイ

- 1 エンジンマネジメントシステム警告表示 (▶▶▶ 29)
- 2 -グリップヒーターOE 装備  
選択したグリップヒーター  
ステージの表示 (▶▶▶ 41)
- 3 -オンボードコンピューターOE 装備  
ストップウォッチ (▶▶▶ 37)
- 4 時刻 (▶▶▶ 35)
- 5 冷却水温警告表示 (▶▶▶ 28)
- 6 サービス実施時期 (▶▶▶ 23)
- 7 値フィールド (▶▶▶ 36)
- 8 -オンボードコンピューターOE 装備  
表示されている値を明確に  
するためのマーク (記  
号) (▶▶▶ 21)
- 9 クーラント温度表示



- 10 - オンボードコンピューター (OE) 装備  
ギヤインジケーター、  
ニュートラル位置で「N」  
が表示される
- 11 フューエルレベル (▶▶▶ 23)
- 12 - オンボードコンピューター (OE) 装備  
値フィールド (▶▶▶ 36)
- 13 値フィールドに警告メッセージが表示される (▶▶▶ 24)
- 14 トリップメーター (▶▶▶ 36)

## 記号 (マーク / アイコン) の意味

- オンボードコンピューターOE  
装備



リザーブ容量に達した  
後に走行した距離 (km)  
(▶▶▶ 23)



平均燃費 (l/100 km)



平均速度 (km/h)



瞬間燃料消費量 (l/100 km)

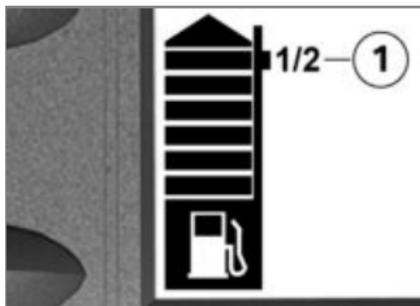


周囲温度 (°C) (▶▶▶ 24)◁



## フューエルレベル

燃料タンクの複雑な形状により、タンク上半分の充填レベルの測定は行えません。この理由から、燃料充填レベル表示はタンクの下半分でのみ行われます。



充填レベル表示が1/2 マーク 1 に達したとき、燃料タンクにはまだ半分の燃料が充填されています。これ以降、充填レベルは正確に表示されます。残量がリザーブ容量に達すると、燃料残量警告灯が点灯します。

## フューエルリザーブ容量

燃料残量警告灯の点灯時に燃料タンク内に残っている燃料の量は、走行ダイナミクスに左右されます。タンク内の燃料が激しく動くほど（傾き方向の頻繁な変化、頻繁な減速および加速が原因）、残量の測定が困難になります。この理由から燃料残量を正確に示すことはできません。

ー オンボードコンピューターOE 装備



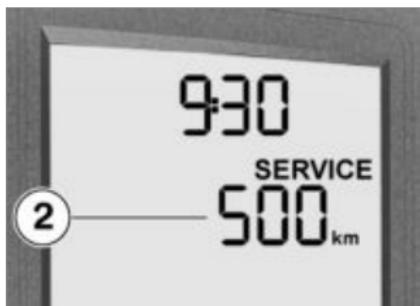
燃料残量警告灯の点灯後、その時点からの走行距離が表示されます。

リザーブ容量でまだ走行可能な距離は、運転スタイル（燃費）と警告灯の点灯時点でまだ使用可能な燃料の量に左右されます。給油後に燃料の量がリザーブ容量より多くなると、燃料残量用の距離計はリセットされます。◁

## サービス表示



次回のサービスまでの期間が1ヶ月以内の場合、サービス時期 1 が Pre-Ride-Check（走行前点検）に続いて短時間表示されます。月および年が、コロんで分けられて2桁または4桁で表示されます。この図の表示は、2013年6月を示しています。



年間走行距離が長い場合には、予定を早めてサービスを実施する状況になることもあります。早めに実施されるサービス用の走行距離が 1000 km 以内の場合、残りの走行距離 **2** が 100 km 単位で、Pre-Ride-Check (走行前点検) に続いて短時間表示されます。



サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離を示すため、さらにジェネラル警告灯が黄色く点灯します。サービス表示は継続的に表示されます。



サービス期日まで 1ヶ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、メーターパネルに設定されている日付を調整する必要があります。この症状は、バッテリーが長時間外されたままのときに発生することがあります。日付の調整に関しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

## 周囲温度

ーオンボードコンピューターOE 装備



停車している時に、エンジン放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、一時的にーが表示されます。外気温度が 3 °C を下回ると、氷結が発生する前に警告のため温度表示が点滅します。この温度を最初に下回った時点で、ディ

スプレイの設定状態にかかわらず自動的に温度表示に切り替わります。◀

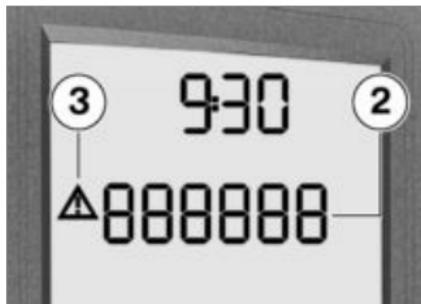
## 警告表示

警告は対応する警告灯により表示されます。



専用の警告灯のない警告は、ジェネラル警告灯 **1** と警告メッセージや警告マークとの組み合わせにより、マルチファンクションディスプレイに表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラ

ル警告灯が、赤または黄 / 橙に点灯します。



値フィールド **2** に警告が表示される場合、三角形の警告マーク **3** がその印です。これらの警告は、オドメーターと交互に表示させることができます (▶▶▶ 36)。

ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。

次のページに警告表示の一覧があります。

## 警告表示一覧

## インジケーター / 警告灯

## ディスプレイ

## 意味

	点灯する (黄)	 + 「EWS」 が表示される	EWS 作動 (▶▶▶ 28)
	点灯する		燃料がリザーブ容量に達している (▶▶▶ 28)
	点灯する (赤)	 点滅する	クーラント温度が高すぎる (▶▶▶ 28)
	点灯する (黄)	 が表示される	エンジンがエマージェンシーモードになっている (▶▶▶ 29)
	点灯する (黄)	 + 「LAMP」 が表示される	バルブが故障している (▶▶▶ 29)
		「x.x °C」が点滅する	氷結警告 (▶▶▶ 29)
	点灯する (黄)	 + 「dWA」 が表示される	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶ 30)
	点滅する		ABS 自己診断が終了していません (▶▶▶ 30)

## インジケーター / 警告灯 ディスプレイ

## 意味

	点灯する	ABS が OFF になっている (▶▶▶▶ 30)
	点灯する	ABS の故障 (▶▶▶▶ 30)
	素早く点滅する	ASC 制御 (▶▶▶▶ 31)
	ゆっくりと点滅する	ASC-自己診断が終了していません (▶▶▶▶ 31)
	点灯する	ASC が OFF になっている (▶▶▶▶ 31)
	点灯する	ASC の故障 (▶▶▶▶ 31)

## EWS 作動



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



+「EWS」が表示されません。

考えられる原因:

使用されたキーに始動する権限がないか、キーとエンジンマネジメントシステム間の交信が妨げられています。

- イグニッションキー付近にある他のキーを外します。
- スペアキーを使用します。
- 故障したキーは、BMW Motorrad ディーラーで交換してください。

## 燃料がリザーブ容量に達している



燃料残量警告灯が点灯します。



燃料不足は、ミスファイアおよび予期しないエンジン停止を招くおそれがあります。ミスファイアは触媒コンバーターの損傷を招き、予期しないエンジン停止は事故に至るおそれがあります。フューエルタンクを空にしないでください。◀

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。



フューエルリザーブ容量

- min 2.7 l

- 給油(▶▶ 65).

## クーラント温度が高すぎる



ジェネラル警告灯（赤）が点灯します。



温度計マークが点滅しなくなります。



オーバーヒートした状態で走行すると、エンジンの損傷を招くおそれがあります。

必ず下記の処置を順守してください。◀

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検する(▶▶ 92).

クーラントレベルが低すぎる場合:

- クーラントを補充する(▶▶ 93).

考えられる原因:

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。
- 渋滞中はエンジンを停止させます。ただし、ラジエーターファンの作動を止めないために、

イグニッションは ON のままにしておきます。

- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早く BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

## エンジンがエマージェンシーモードになっている



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



エンジンマークが表示されます。



エンジンはエマージェンシーモードで作動します。通常と異なる走行特性になることがあります。

走行スタイルを調整してください。著しい加速や追い越しは避けてください。◀

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットに故障が発生しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンはエマージェンシーモードで作動します。

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能は発揮できない可能性があります。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

## バルブが故障している



ジェネラル警告灯（黄）が点灯します。



+「LAMP」が表示されます。



モーターサイクルのバルブが故障していると、その車両は他の走行車両などから見え

にくくなり、危険にさらされることとなります。

故障したバルブはできるかぎり早く交換してください。適切なスペアバルブを常備することをお勧めします。◀

考えられる原因:

白熱バルブが故障しています。

- 目視点検を行い、故障したバルブを検出します。
- ロー / ハイビームライトバルブを交換する(▶▶▶ 105).
- ポジション / パーキングライトバルブを交換する(▶▶▶ 107).
- ブレーキライト / テールライトバルブを交換する(▶▶▶ 108).
- フロント / リヤウインカーバルブを交換する(▶▶▶ 108).

## 氷結警告

– オンボードコンピューターOE 装備

「x.x °C」（周囲温度）が点滅します。

考えられる原因:

モーターサイクル付近で測定された外気温度は 3 °C を下回っています。

 氷結警告には、測定温度時には 3 °C を越えていた路面であっても凍結する可能性のあることが含まれています。

外気温度が低い場合、特に橋の上や陰になった暗い路面では、凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀

- よく注意して走行してください。

## DWA バッテリーが空になっている

– 盗難警報装置<sup>OE</sup> 装備

 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

 + 「dWA」が表示されません。



このエラーメッセージは Pre-Ride-Check (走行前点検) 後に短時間表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

## ABS 自己診断が終了していません



ABS 警告灯が点滅します。

考えられる原因:

自己診断が終了していないため、ABS 機能は使用できません。ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルを数メートル走行させます。

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

## ABS が OFF になっている



ABS 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ABS システムは、ライダーにより OFF にされました。

- ABS 機能を ON にする(▶▶▶ 42)。

## ABS の故障



ABS 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ABS 機能が使用できないことに注意してください。ABS の故障を引き起こすおそれのある状況に関するその他の情報に注意してください(▶▶▶ 71)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

## ASC 制御

– ASC<sup>OE</sup> 装備



ASC 警告灯が素早く点滅します。

ASC はリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。警告灯は、ASC 制御よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目的にすることができます。

## ASC-自己診断が終了していません

– ASC<sup>OE</sup> 装備



ASC 警告灯がゆっくりと点滅します。

考えられる原因:

自己診断が終了しておらず、ASC 機能は使用できません。ASC 自己診断を終了するため、エンジンを始動させてモーター

サイクルを 5 km/h 以上で走行させる必要があります。

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまでは ASC 機能が使用できないことに注意してください。

## ASC が OFF になっている

– ASC<sup>OE</sup> 装備



ASC 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ASC システムは、ライダーによって OFF にされました。

- ASC を ON にします。

## ASC の故障

– ASC<sup>OE</sup> 装備



ASC 警告灯が点灯します。

考えられる原因:

ASC コントロールユニットが故障を検知しました。ASC 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。ASC の故障を引き起こしている状況についての、詳細な情報をご確認ください (▶▶ 72)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。



**操作**

イグニッションスイッチ / ステアリングロック .....	34	ミラー .....	45
電子式イモビライザー (EWS) ....	35	スプリングプリロード .....	46
時計 .....	35	ショックアブソーバー .....	47
表示 .....	36	電子調整式サスペンション (ESA) .....	48
ストップウォッチ .....	37	タイヤ .....	49
ライト .....	39	ヘッドライト .....	50
ウインカー .....	40	シート .....	50
ハザードランプ .....	40	ヘルメットホルダー .....	51
イグニッションキルスイッチ .....	41	Rider's Manual .....	52
グリップヒーター .....	41		
BMW Motorrad ABS .....	42		
BMW Motorrad ASCASC .....	43		
クラッチ .....	44		
ブレーキ .....	44		

## イグニッションスイッチ / ステアリングロック

### キー

マスターキー (2 本) とスペアキー (1 本) が含まれています。スペアキーは、財布などに入れておくことができるように、小さく軽い作りになっています。マスターキーが手元にない場合に使用するものであり、常用に適したものではありません。

キーを紛失した場合は、電子式イモビライザー (EWS) (▶▶ 35) の注意事項に従ってください。

イグニッションスイッチ / ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。

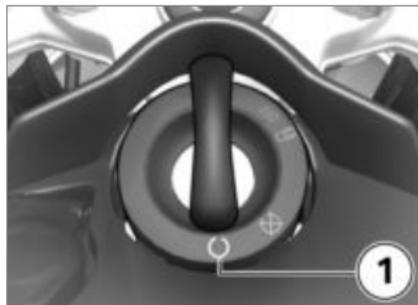
– ケース<sup>OA</sup> 装備

– トップケース<sup>OA</sup> 装備

ご希望により、ケースおよびトップケースも同じキーで操作するようになります。この件につきま

しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

### イグニッションを ON にする



- キーをポジション **1** に回します。
- ▶▶ ポジション / パーキングライトとすべての電気回路が ON になります。
- ▶▶ エンジンを始動することができます。
- ▶▶ Pre-Ride-Check (走行前点検) が行われます。(▶▶ 59)
- ▶▶ ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 60)

– ASC<sup>OE</sup> 装備

▶▶ ASC 自己診断が実施されません。(▶▶ 60)

### イグニッションスイッチを OFF にする



- キーをポジション **2** に回します。
- ▶▶ ライトが OFF になります。
- ▶▶ ステアリングロックが解除されます。
- ▶▶ キーを抜き取ることができます。
- ▶▶ 追加装備機器は限られた時間内で使用できます。

» バッテリーの充電は、電源ソケットを介して行うことができます。

## ステアリングロックをロックする

• ハンドルを左に回します。



- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション **3** に回します。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされます。

» キーを抜き取ることができません。

## 電子式イモビライザー (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコントロールユニットがエンジンスタートを許可します。

▶ スペアキーが始動用イグニッションキーと一緒にキーリングなどで取り付けられていると、内蔵の電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイにEWS 警告が表示されます。

スペアキーはイグニッションキーと必ず別に保管してください。◀

車両キーを紛失したときには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。

使用停止となったキーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となったキーを再度登録し直すことは可能です。

代替および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーを介してのみ、入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

## 時計

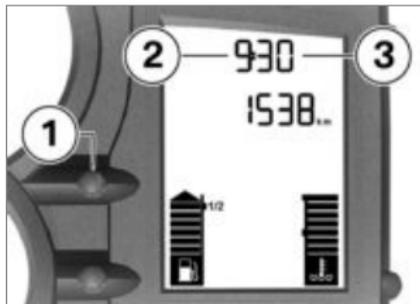
### 時計を調整する



走行中に時計を調整すると、事故につながるおそれがあります。

時計の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀

- イグニッションを ON にします。



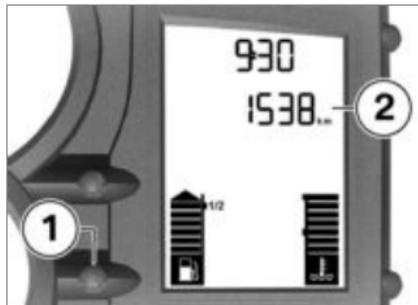
- ボタン **1** を押し、時間 **2** を点滅させます。
- ボタンを押し、ご希望の時間を表示させます。
- 分 **3** が点滅するまで、ボタンを押しします。
- ご希望の分数が表示されるまで、ボタンを繰り返し押しします。

- 分が点滅しなくなるまで、ボタンを押し続けます。
- » 設定が終了しました。

## 表示

### 表示を選択する

- イグニッションを ON にします。



- ボタン **1** を操作し、値範囲の表示 **2** を選択します。

次の値が表示されます：

- － 総走行距離 (図)
- － トリップメーター 1 (Trip I)
- － トリップメーター 2 (Trip II)

- － 必要に応じて警告

- － オンボードコンピューター-OE 装備



- ボタン **1** を操作し、値範囲の表示 **2** を選択します。

次の値が表示されます：

- － 周囲温度 (°C)



平均速度 (km/h)



平均燃費 (l/100 km)



瞬間燃料消費量 (l/100 km)



リザーブ容量に達した後  
に走行した距離 (km) <

## トリップメーターをリセットする

- イグニッションを ON にします。
- 希望のトリップメーターを選択します。



- トリップメーターがリセットされるまで、ボタン **1** を押し続けます。

## 平均値をリセットする

– オンボードコンピューター–OE  
装備

- イグニッションを ON にします。
- 平均燃費または平均速度を選択します。

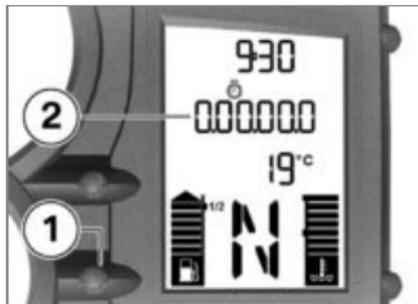


- 表示されている値がリセットされるまで、ボタン **1** を押し続けます。

## ストップウォッチ

– オンボードコンピューター–OE  
装備

## ストップウォッチ

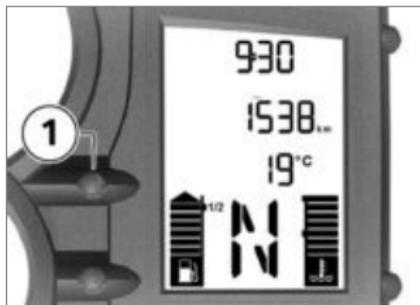


オドメーターに代えてストップウォッチ **2** を表示させることもできます。表示は「.」により、時間、分、秒および 1/10 秒に分けられています。

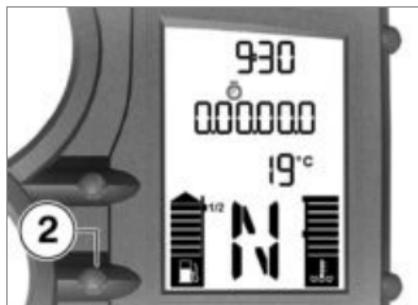
走行中にストップウォッチをラップタイマーとして使いやすくなるために、ハンドルバーフィッティングのボタン **1** の機能およびINFO ボタンの機能を交換します。ストップウォッチおよびオ

ドメーターの操作はINFO-ボタンで行われるようになり、オンボードコンピューターはボタン**1**で操作されることとなります。途中でオドメーターに切り替えると、ストップウォッチは表示はされなくなりますが、計測は続けられています。ストップウォッチは、途中でイグニッションをOFFにしても計測を続けます。

### ストップウォッチを操作します。

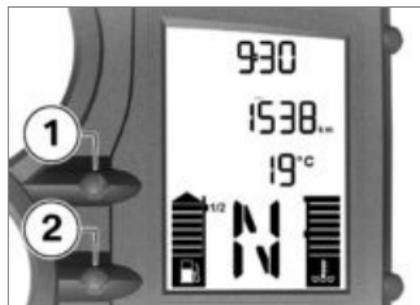


- 必要に応じて、ボタン**1**でオドメーターからストップウォッチに切り替えます。



- ストップウォッチが止まっている状態でボタン**2**を操作し、ストップウォッチをスタートさせます。
- ストップウォッチが動いている状態でボタン**2**を押し、ストップウォッチを止めます。
- ボタン**2**を押し、ストップウォッチをリセットします。

### ボタン機能を交換する



- 表示が変わるまで、ボタン**1**とボタン**2**を同時に押し続けます。
  - » FLASH (エンジン回転数警告表示) およびON またはOFF が表示されます。
- ボタン**2**を押します。
  - » LAP (Lap-Timer) およびON またはOFF が表示されます。
- 希望する状態が表示されるまで、ボタン**1**を繰り返し操作します。
  - » ON: ハンドルバーフィッティングのINFO ボタンを介したストップウォッチの操作。

» OFF: メーターパネルのボタン **2** を介したストップウォッチの操作。

- 設定を保存するには、表示が変わるまで、ボタン **1** およびボタン **2** を同時に押し続けます。

## ライト

### ポジション / パーキングライト

イグニッションを ON にすると、ポジション / パーキングライトは自動的に ON になります。

▶ ポジション / パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

### ロービーム

ロービームは以下の条件で自動的にオンになります:

- エンジンが始動された場合。
- イグニッションがオンの状態で車両を動かす場合。

▶ イグニッションを ON にして、ハイビームあるいはパッシングスイッチを操作すると、エンジンを停止した状態でもライトを点灯させることができます。◀

### ハイビームとパッシングライト



- スイッチ **1** を前方へ押し、ハイビームを ON にします。

- スイッチ **1** を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

### パーキングライト

- イグニッションを OFF にします。



- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン **1** を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

## ウインカー

### ウインカーを操作する

- イグニッションを ON にします。

▶ 約 10 秒間、および、約 300 m の距離を走行すると、ウインカーは自動的に OFF になります。◀



- 左側ウインカーを ON するには、ボタン **1** を左方向へ押します。
- 右側ウインカーを ON するには、ボタン **1** を右方向へ押します。

- ウインカーを OFF するには、ボタン **1** を中間の位置にします。

## ハザードランプ

### ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にします。

▶ ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようになしてください。◀

▶ イグニッションを ON にした状態で片方のウインカースイッチを押すと、押している間はハザードランプ機能がウインカー機能に代わります。ウインカースイッチを押すのをやめると、再びハザードランプ機能が作動します。◀



- ハザードランプを ON するには、ボタン **1** を操作します。
- » イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードランプを OFF するには、ボタン **1** をもう一度操作します。

## イグニッションキルスイッチ



1 イグニッションキルスイッチ

**!** 走行中にイグニッションキルスイッチを操作すると、リヤホイールがロックし、転倒するおそれがあります。走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡単に停止することができます。



a エンジン停止  
b 通常の操作ポジション

## グリップヒーター

—グリップヒーターOE 装備

### グリップヒーターを操作する

- エンジンを始動させます。

▶ グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。◀

▶ 低速走行時には、グリップヒーターによって高まった消費電力がバッテリーの放電を招くことがあります。バッテ

リーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。◀



- ボタン 1 を、ご希望の暖房レベルが表示されるまで繰り返し押します。



グリップを2段階で暖めることができます。2段階目**2**では、グリップを急速に温めることができます。その後、1段階目に切り替えてください。



ヒーター出力 50%



ヒーター出力 100%

» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。

## BMW Motorrad ABS

### ABS 機能を OFF にする

- モーターサイクルを停止させるか、または、モーターサイクルを立てた状態でイグニッションを ON にします。



- ABS 警告灯の表示が変わるまで、ボタン**1**を押し続けます。

 ABS 警告灯が点灯します。

– ASC<sup>OE</sup> 装備

» 次に、ASC マークの表示が変化します。ABS 警告灯が反応するまで、ボタン**1**を押

し続けます。この場合、ASC の設定は変わりません。

- ボタン**1**を2秒以内に放します。



ABS 警告灯が点灯し続けます。

» ABS 機能が OFF になります。

### ABS 機能を ON にする



- ABS 警告灯の表示が変わるまで、ボタン**1**を押し続けます。



ABS 警告灯が消灯します。

自己診断が終了していない場合は、ABS 警告灯が点滅し始めます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放しません。

 ABS 警告灯は消灯したままか、点滅し続けます。

- » ABS 機能が ON になります。
- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。

 イグニッションを ON / OFF にした後、ABS 警告灯がまだ点灯する場合は、ABS に故障が発生しています。◀

## BMW Motorrad ASC

– ASC<sup>OE</sup> 装備

### ASC 機能を OFF にする

- イグニッションを ON にしません。

 ASC 機能は走行中にも OFF にできます。◀



- ASC 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。

 ASC 警告灯が点灯します。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放しません。

 ASC 警告灯が点灯し続けます。

- » ASC 機能が OFF になります。

### ASC 機能を ON にする



- ASC 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。

 ASC 警告灯が消灯します。自己診断が終了していない場合は、ASC 警告灯が点滅し始めます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放しません。

 ASC 警告灯は消灯したままか、点滅を続けます。

- » ASC 機能が ON になります。

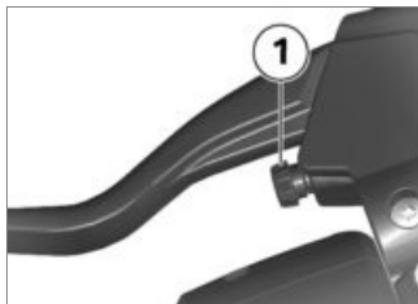
- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。

▶ イグニッションを OFF / ON にしてさらに 5 km/h 以上で走行後に ASC 警告灯が点灯する場合は、ASC が故障しています。◀

## クラッチ

### クラッチレバーを調整する

⚠ 走行中にクラッチレバーを調整すると、事故につながるおそれがあります。クラッチレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- クラッチレバーとハンドルグリップ間の間隔を大きくするには、アジャストスクリュー 1 を時計回りに回します。
- クラッチレバーとハンドルグリップ間の間隔を小さくするには、アジャストスクリュー 1 を反時計回りに回します。

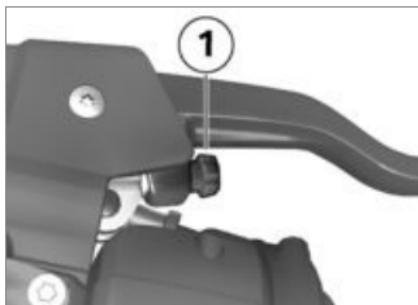
▶ その際、クラッチレバーを前へ押すと、アジャストスクリューを簡単に回すことができます。◀

## ブレーキ

### ブレーキレバーを調整する

⚠ ブレーキフルードリザーバータンクの位置を変更すると、エアがブレーキシステムに入り込むおそれがあります。ハンドルバーフィッティングもハンドルも回さないでください。◀

⚠ 走行中にハンドブレーキレバーを調整すると、事故につながるおそれがあります。ハンドブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



## ミラー ミラーを調整する



- ハンドブレーキレバーとハンドルグリップ間の間隔を大きくするには、アジャストスクリュー **1** を時計回りに回します。
- ハンドブレーキレバーとハンドルグリップ間の間隔を小さくするには、アジャストスクリュー **1** を反時計回りに回します。

▶ その際、ブレーキレバーを前へ押し、アジャストスクリューを簡単に回すことができます。◀

- ミラーを回してご希望の位置に調整します。

## ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を外します。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。
- ミラーアームを保持しながら、ナットを締め付けトルクで締め付けます。

 ロックナット (ミラー) とクランプ

- 20 Nm

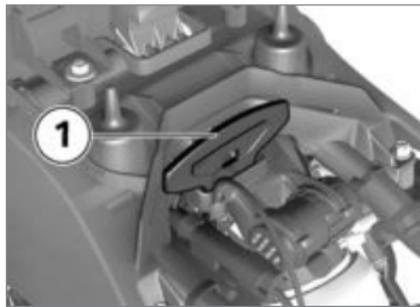
- 保護キャップを接続部の上へずらします。

## スプリングプリロード 調整

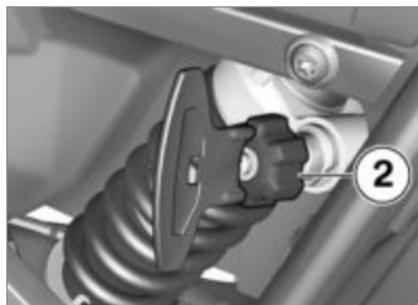
リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

### スプリングプリロードを調整する (リヤホイール)

- シートを取り外す(▶▶ 50)。



- ツール **1** を取り外します。



**!** スプリングプリロードおよびショックアブソーバーが調整されていない場合、モーターサイクルの走行特性が悪化します。ショックアブソーバーは、スプリングプリロードに合わせて調整してください。◀

- スプリングプリロードを高くするには、ツールを使用して、アジャストノブ **2** を時計回りに回します。
- スプリングプリロードを低くするには、ツールを使用して、アジャストノブ **2** を反時計回りに回します。



リヤスプリングプリロード基本調整

- アジャストノブを反時計回りにストップ位置まで回します (1 名乗車時、荷物積載なし)
  - アジャストノブを反時計回りにストップ位置まで回し、次に時計回りに 12 回転回します (1 名乗車時、荷物積載あり)
  - アジャストノブを時計回りにストップ位置まで回します (2 名乗車時、荷物積載あり 85 kg)
  - ローダウンサスペンションOE 装備
  - アジャストノブを反時計回りにストップ位置まで回し、次に 5 ノッチ戻します (1 名乗車時、荷物積載なし)◀
- ツールを再び組み込みます。

- シートを取り付けます(▶▶▶ 51).

## ショックアブソーバー

### 調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。

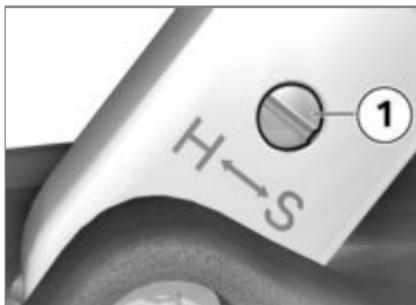
- 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。
- スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

### ショックアブソーバーを調整する (リヤホイール)

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- アジャストスクリュー **1** を回してショックアブソーバーを調整します。



- ショックアブソーバーをハードにするには、アジャストス

クリュー **1** を矢印「H」の方向へ回します。

- ショックアブソーバーをソフトにするには、アジャストスクリュー **1** を矢印「S」の方向へ回します。

 リヤショックアブソーバーの基本調整

- ESA<sup>OE</sup> 非装備

- 調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回し、次に2回転戻します(1名乗車時、荷物積載なし)

- 調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回し、次に1.5回転戻します(1名乗車時、荷物積載あり)

- 調整ボルトを時計回りにストップ位置まで回し、次に1回転戻します(2名乗車時、荷物積載あり)<

## 電子調整式サスペンション (ESA)

– ESA<sup>OE</sup> 装備

### 調整

電子調整式サスペンション (ESA) により、リヤホイールのショックアブソーバーを路面状況に合わせて簡単に調整することができます。3 通りのショックアブソーバー調整を利用できます。

### 設定を表示する

- イグニッションを ON にします。



- 現在の設定を表示させるため、ボタン **1** を操作します。



設定されたショックアブソーバーがマルチファンクションディスプレイの **1** の領域に表示されま

す。各表示には以下の意味があります：

- COMF コンフォート設定  
ショックアブソーバー
  - NORM ノーマル設定ショックアブソーバー
  - SPORt スポーツ設定ショックアブソーバー
- » 少し経つと、表示は再び自動的に消えます。

### サスペンションを調整する

- イグニッションを ON にします。



●現在の設定を表示させるため、ボタン **1** を操作します。  
他のショックアブソーバーを調整するには：

●ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し押します。

▶ダンピングの調整は、走行中もできます。◀

- » ボタン **1** をしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたショックアブソーバー調整が設定されます。
- » 設定後、ESA 表示は消えます。

## タイヤ

### タイヤ充填圧を点検する

**!** タイヤ充填圧が適正でない場合、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼし、タイヤの寿命を縮めます。タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀

**!** 高速で走行していると、遠心力により、垂直に取り付けたタイヤバルブが傾き、少しずつ緩むことがあります。タイヤ充填圧が突然失われることのないように、バルブがホイールリムに対してまっすぐに取り付けられている場合には、ラバーシールの付いたバルブキャップを使用し、確実に締め付けてください。◀

●平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。

- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。

	タイヤ充填圧 (フロント)
- 2.2 bar (1 名乗車時 (タイヤ冷間時) )	
- 2.4 bar (2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時) )	
	タイヤ充填圧 (リヤ)
- 2.4 bar (1 名乗車時 (タイヤ冷間時) )	
- 2.8 bar (2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時) )	

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

## ヘッドライト

### 右側 / 左側通行の国でのヘッドライトの調整

モーターサイクルが反対側通行の国へ入ると、非対称のロービームが対向車を眩惑します。それぞれの状況に合わせたヘッドライトの調整は、BMW Motorrad ディーラーにご依頼ください。

### 光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

ただし、負荷が非常に高い場合には、スプリングプリロードを適切に調整することができません。その場合は、光軸を重量に応じて調整してください。

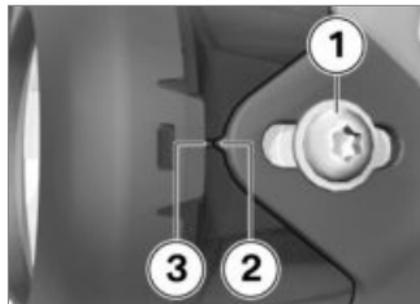
▶ 光軸調整が正しいか疑わしい場合には、専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

### 光軸を調整する



- 左右のボルト **1** を外します。
- ヘッドライトを少し傾けて調整します。
- 左右のボルト **1** を締め付けます。

### 光軸の基本調整



- 左右のボルト **1** を外します。
- ヘッドライトを少し傾けて、ノズ **2** がマーク **3** の方を示すようにします。
- 左右のボルト **1** を締め付けます。

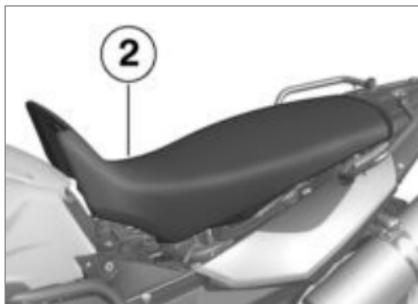
## シート

### シートを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。

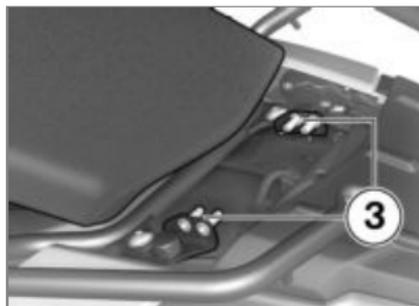


- シートロック **1** を車両キーを使用して左へ回して保ちます。その際、シート前側を保持しながら、下方向へ押しします。



- シート **2** 前部を持ち上げ、キーを放します。
- シートを取り外し、ラバーバッファ側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

## シートを取り付けます



- シートをホルダー **3** に組み込みます。
- シート前部を下方向に強く押し込みます。
- » シートがはまる音が聞こえます。

## ヘルメットホルダー

### ヘルメットをモーターサイクルに固定する

- シートを取り外す(▶▶▶ 50).



- スチールケーブル（アクセサリ）を使用して、ヘルメットを左右のヘルメットホルダー **1** に固定します。



**!** 車両の左側にヘルメットを固定している場合、熱くなったマフラーにより、損傷するおそれがあります。ヘルメットは、できるかぎり車両の右側に固定してください。◀

**!** ヘルメットロックがフェアリングを傷つけることがあります。掛ける際には、ヘルメットロックの位置に注意してください。◀

- スチールケーブルをヘルメットとホルダーに通し、図に示されているように位置決めします。
- シートを取り付けます(▶▶ 51)。

## Rider's Manual

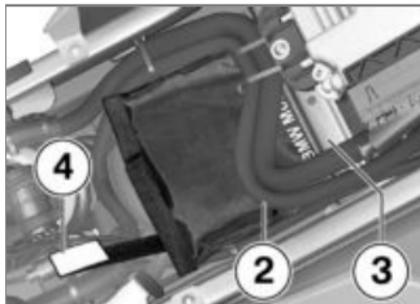
### Rider's Manual を収納する

- Rider's Manual を付属の袋に入れます。



- 袋の開口側を数回折り返し、その後ベルクロファスナー **1** を閉じます。
- 袋を車体後部に収納します。

－ 盗難警報装置<sup>OE</sup> 装備



- 配線 **2** を少し持ち上げます。
- 袋を配線とリヤフレームストラット **3** の下に入れ、袋の折り返した端部がリヤフレームストラットの下にくるまで後方にずらします。
- 保護フィルム **4** を取り去り、袋がこれ以上後方にずれてすべり落ちないように接着部をフレームに貼り付けます。◁



## 走行

安全に関する注意事項.....	56
チェックリスト.....	58
始動.....	59
慣らし走行.....	61
回転数.....	62
オフロード走行.....	62
ブレーキ.....	63
駐車する.....	64
給油.....	65
モーターサイクルを搬送用に固定する.....	66

## 安全に関する注意事項

### ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しない  
でモーターサイクルに乗ることは、  
極めて危険です。次のアイテムを、  
必ず装着 / 着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や天候にかかわらず、  
これらのアイテムは必ず装着 / 着用しな  
ければなりません。BMW Motorrad ディー  
ラーは喜んでご相談に応じます。また、  
それぞれの目的に合わせた、適切な  
アイテムをご用意しています。

### 最大許容バンク角の減少

- ローダウンサスペンションOE  
装備

ローダウンサスペンションを装着  
しているモーターサイクルの場合、  
標準サスペンションを装備している  
モーターサイクルより、可能バンク  
角度が小さくなり、最低地上高が  
低くなります。



モーターサイクルをあまり早く  
起こすと、事故につながるおそれ  
があります。

ローダウン仕様のモーターサイ  
クルでは、バンク角も最低地上  
高も制限されていることにご注  
意ください。◀

危険のない状況で、ご使用のモ  
ーターサイクルの可能バンク角度  
を点検してください。縁石の角  
や障害物などを乗り越えるとき  
には、車両の最低地上高が低く  
制限されていることを考慮に入れ  
てください。

ローダウンサスペンションのモ  
ーターサイクルでは、スプリング  
ラベルが短くなります。それま  
での走行快適性も制限される可  
能性があります。タンデム走行に

おいては専用 to スプリングプリ  
ロードを調整する必要があります。

### 荷物の積み方



積載量をオーバーしたり、  
荷物のバランスが悪いと、  
モーターサイクルの走行安定性  
に悪影響を及ぼすおそれあり  
ます。

許容総重量を超えないようにし、  
積載に関する注意をお守りく  
ださい。◀

- スプリングプリロードの設定、  
ショックアブソーバーの設定、  
タイヤ充填圧を総重量に合わせ  
て調整します。
- ケース<sup>OA</sup> 装備
- ケースの容量が左右均等になっ  
ているか確認します。
- 重量が左右均等になっている  
か確認します。
- 重いものはケースの下部の内側  
に入れます。

- ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を順守してください。◀
- － トップケース<sup>OA</sup> 装備
- トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を順守してください。◀
- － タンクバッグ<sup>OA</sup> 装備
- タンクバッグの最大積載荷重および対応する最高速度を遵守してください。

- － リヤバッグ<sup>OA</sup> 装備
- リヤバッグの最大積載荷重および対応する最高速度を遵守してください。

 リヤバッグの積載荷重
－ max 1.5 kg

 リヤバッグ装着時の最高速度
－ max 130 km/h◀

 タンクバッグの積載容量
－ max 5 kg

 タンクバッグ装着時の最高速度
－ max 130 km/h◀

## 車速

- 高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります。
- － スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの調整
  - － 荷物のアンバランス
  - － 不適切な服装
  - － タイヤ充填圧が低すぎる
  - － タイヤの摩耗
  - － その他

## 有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。

 排気ガスを吸い込むと健康を害し、意識を失ったり、場合によっては死亡するおそれがあります。

排ガスを吸い込まないようにしてください。閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

## 火傷の危険

 走行中、エンジンおよびエキゾーストシステムは極めて高温になります。触れると火傷するおそれがあります。特にマフラーに注意してください。モーターサイクルを駐車したら、誰もエンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀

## 触媒コンバーター

ミスファイアーにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。そのため、次の項目を守ってください。

- フューエルタンクを空にしない
- スパークプラグのキャップを外したままエンジンを作動させない
- ミスファイアーが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる
- 必ず無鉛ガソリンを使用する
- 指定されているメンテナンスを定期的実施する

 未燃焼ガスは触媒コンバーターを破損させます。触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。◀

## オーバーヒート

 エンジンを長時間アイドリングしたままにすると、冷却が十分に行われず、オーバーヒートが発生するおそれがあります。極端なケースでは、車両火災が発生するおそれもあります。

エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

## 改造

 モーターサイクル（エンジンコントロールユニット、スロットルバタフライ、クラッチなど）に改造を施した場合、部品を損傷し、安全に関わる機能の故障を招くおそれがあります。それに起因する損傷に対しては、保証は適用されません。いかなる改造も行わないでください。◀

## チェックリスト

以下のチェックリストを利用して、走行前には必ず、重要な機能、設定、摩耗限度について点検してください。

- ブレーキ機能
- フロント / リヤブレーキフルードレベル
- クラッチ機能
- ショックアブソーバーの設定およびスプリングプリロード
- トレッドの溝の深さおよびタイヤ空気圧
- ケースおよび荷物の確実な固定

定期的に点検してください：

- エンジンオイルレベル（燃料補給ごと）
- ブレーキパッドの摩耗（燃料補給 3 回に 1 度）
- ドライブチェーンの張り具合とグリースアップ

## 始動

### エンジンを始動する

 ギヤボックスの潤滑は、エンジン作動時にのみ確認できます。潤滑が不十分だと、ギヤボックスが損傷するおそれがあります。

エンジンを停止した状態でモーターサイクルを長時間前進させたり、長い距離を惰行させないでください。◀

- イグニッションを ON にします。
- » Pre-Ride-Check (走行前点検) が行われます。(▶▶ 59)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 60)
- ASC<sup>OE</sup> 装備
- » ASC 自己診断が実施されます。(▶▶ 60)
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。

 サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできますが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出した状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。◀

- コールドスタート時や外気温度が低い場合には、クラッチを切り、スロットルグリップを少し操作します。



- スターターボタン **1** を押します。

 バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。◀

- » エンジンが始動します。
- » エンジンが始動しない場合は、「仕様 (諸元)」の章のトラブルシューティングをご覧ください。(▶▶ 124)

### Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションを ON にすると、メーターパネルによってメーターおよびインジケーター / 警告灯のテスト、Pre-Ride-Check (走行前点検) が行われます。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

### ステップ 1

タコメーターおよびスピードメーターの指針がいっぱい振れます。同時にすべての警告灯 / イ

インジケーターが次々と点灯します。

## ステップ 2

» ジェネラル警告灯が黄から赤に変わります。

## ステップ 3

タコメーターおよびスピードメーターの指針が戻ります。同時にすべての作動しているインジケーター / 警告灯が次々と逆の順序で消灯します。

指針が動かない、または、上記のインジケーター / 警告灯が点灯しない場合:

 警告灯のいずれかが点灯しない場合、考えられる機能障害が表示されていないことがあります。

すべての警告灯およびインジケーターの表示に注意します。◀

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

## ABS 自己診断

BMW Motorrad ABS の作動準備状態は自己診断により点検されません。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルを数メートル走行させます。

### ステップ 1

» 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ABS 警告灯が点滅します。

### ステップ 2

» 発進時に ABS センサーを点検します。



ABS 警告灯が点滅します。

### ABS 自己診断が終了

» ABS 警告灯が消灯します。

ABS 自己診断の終了後、ABS の故障が表示される場合:

- 走行を続行することは可能です。ABS 機能が使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

## ASC 自己診断

– ASC<sup>OE</sup> 装備

BMW Motorrad ASC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

### ステップ 1

» 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ASC 警告灯がゆっくと点滅します。

## ステップ 2

» 走行中に診断可能なシステムコンポーネントを点検します (5 km/h 以上)。

 ASC 警告灯がゆっくりと点滅します。

### ASC 自己診断が終了

» ASC 警告灯が消灯します。

ASC 自己診断の終了後、ASC の故障が表示される場合:

- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

## 慣らし走行

### 最初の 1000 km

- 慣らし走行中は、スロットル開度とエンジン回転数を頻繁に変化させてください。一定の回

転数での長時間の走行は避けてください。

- 初めて走行するときは、幹線道路や高速道路よりも、カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を順守してください。

	慣らし走行中のエンジン 回転数
- <5000 min <sup>-1</sup>	

- 500 ~ 1200 km の間に必ず初回点検を行ってください。

### ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。

 新品のブレーキパッドの場合、制動距離が大幅に長くなるおそれがあります。早めにブレーキングしてください。◀

### タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。

 新品のタイヤはグリップが充分でないため、極度に車体を傾けると事故につながるおそれがあります。車体を極度に傾けないでください。◀

## 回転数

— オンボードコンピューター—OE  
装備

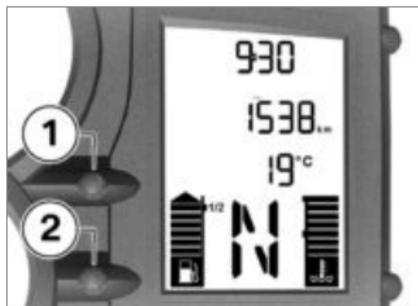
### エンジン回転数警告



エンジン回転数警告は、回転域がレッドゾーンに達していることを、ライダーに知らせるためのものです。この警告は、DWA インジケーター **1** が赤く点滅することにより行われます。

警告は、シフトアップされるかあるいはエンジン回転数が低減されるまで作動し続けます。ライダーは、この機能を作動 / 作動解除することができます。

### エンジン回転数警告を ON にする



- 表示が変わるまで、ボタン **1** とボタン **2** を同時に押し続けます。
- » FLASH (エンジン回転数警告表示) および ON または OFF が表示されます。
- 希望する状態が表示されるまで、ボタン **1** を押します。
- » ON エンジン回転数警告が作動します。
- » OFF: エンジン回転数警告が作動解除されます。
- 設定を保存するには、表示が変わるまで、ボタン **1** および

ボタン **2** を同時に押し続けます。

## オフロード走行

### オフロード走行後

BMW Motorrad はオフロード走行後に以下の点に注意することをお勧めします:

### タイヤ充填圧



オフロード走行用にタイヤ充填圧を低下させたまま、舗装路を走行するとモーターサイクルの走行特性が悪化し、事故につながるおそれがあります。

タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀

### ブレーキブレーキ



オフロード走行やめかると、舗装路を走行すると、ブレーキディスクやブレーキパッドに汚れが付着し、ブレーキの効きが遅くなることがあります。

ブレーキ操作を行ううちに、付着している汚れがとれるまでは、早めにブレーキングしてください。◀

 舗装されていない道路や汚れた道路を走行すると、ブレーキパッドの摩耗が激しくなります。

ブレーキパッドの使用限度厚を頻繁に点検し、ブレーキパッドを早期に交換します。◀

### スプリングプリロードおよびショックアブソーバー

 スプリングプリロードおよびショックアブソーバーをオフロード走行用に変更した場合、オンロードでのモーターサイクルの走行特性は悪化します。オフロードでの走行を終えたら、スプリングプリロードとショックアブソーバーを正しく調整してください。◀

### ホイールリム

BMW Motorrad は、オフロード走行後に、ホイールリムが損傷していないか点検することをお勧めします。

### エアクリナー

 エアクリナーの汚れによるエンジンの損傷。埃の多いオフロードで走行する場合には、エアクリナーの汚れの点検を頻繁に行い、必要に応じて清掃または交換します。◀

非常に埃の多い条件下での走行（砂漠や乾燥した草原など）においては、専用が開発されたエアクリナーの使用が必要です。

## ブレーキ

### 制動距離を最短にするには？

フロント / リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きなブレーキフォースが伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる緊急ブレーキでは、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、ブレーキフォースが完

全には路面に伝達できなくなります。フロントホイールがロックするおそれがあります。フロントホイールのブロックは、BMW Motorrad ABS により回避されます。

## 下り坂

 下り坂で、リヤブレーキばかりを使用していると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。最悪の場合、ブレーキが熱くなりすぎて破損することがあります。フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。◀

## 濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。

 濡れた路面や汚れが原因のブレーキの効きの悪さ。ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。◀

## 駐車する

### サイドスタンド

- エンジンを停止させます。

 路面状態が悪いと、確実に停車させることができません。

スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

 サイドスタンドは、モーターサイクルの重量のみを支えられるように設計されています。サイドスタンドを立てた状態で、モーターサイクルに着座しないでください。◀

- 路面の傾斜に無理がなければ、ハンドルバーを左へ回しておきます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

### センタースタンド

- メイン (センター) スタンド<sup>OE</sup> 装備
- エンジンを停止させます。

**!** 路面状態が悪いと、確実に停車させることができません。

スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

**!** メイン（センター）スタンドは激しく動かされると跳ね上がることがあり、それが原因でモーターサイクルが転倒するおそれがあります。

メイン（センター）スタンドを立てた状態で、モーターサイクルに着座しないでください。◀

- メイン（センター）スタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

## 給油

**!** フューエルは簡単に引火します。フューエルタンクに火を近づけると、火災や爆発が起る可能性があります。

フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決し

てタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀

**!** フューエルは、高温になると膨張します。フューエルタンクからフューエルがあふれ、路面に至ることがあります。それにより、転倒するおそれがあります。

フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀

**!** フューエルはプラスチックの表面を傷めるため、表面の光沢がなくなったり、外観が損なわれたりします。

プラスチック部品にフューエルが付着した場合は、ただちに拭き取ってください。◀

**!** 有鉛ガソリンを使用すると、触媒コンバーターが破損します。必ず無鉛ガソリンを使用してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。

**▷** サイドスタンドを立てているだけの場合には、使用できるタンク容量は、まっすぐにした状態でのタンク容量になります。◀

- 保護キャップを開きます。



- フューエルタンクキャップを車両キーを使用してロック解除し、開きます。



- 以下に記載されているグレードのフューエルをフィラーネックの下端いっぱいまで補給します。

▶ リザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀

▶ テクニカルデータに記載されている「使用可能な燃料充填量」は、事前に燃料タンクが空になったとき、つまり燃料不足でエンジンが停止したとき

に給油することのできる燃料の量です。◀



推奨フューエルグレード

- 無鉛プレミアムガソリン (ハイオク)
- 95 ROZ/RON
- 89 AKI
- 無鉛レギュラーガソリン (RON 91) <sup>OE</sup> 装備
- 無鉛ノーマル (出力および燃費に少々制限あり)
- 91 ROZ/RON
- 87 AKI◀



フューエル容量

- 約 16 l



フューエルリザーブ容量

- min 2.7 l

- フューエルタンクキャップを強く押しつけて閉めます。
- キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

## モーターサイクルを搬送用に固定する

- テンションストラップが取り回されているすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します。接着テープや柔らかいウェスなどを使用してください。



**!** モーターサイクルが横に傾き、倒れるおそれがあります。

モーターサイクルが横転しないように固定します。◀

- モーターサイクルを搬送用プレートの上へ移動させます。サイドスタンドやメイン（センター）スタンドで立てないでください。



**!** コンポーネントが損傷するおそれがあります。

コンポーネント（ブレーキラインやケーブル、配線など）が挟み込まれないようにしてください。◀

- フロント側テンションストラップをローアフォークブリッジに取り付けてピンと張ります（左右）。



- リヤ側テンションストラップをリヤフレームに取り付けてピンと張ります（左右）。
- すべてのテンションストラップを均等に張り、車両ができるかぎりしっかりと固定されるようにします。



## 技術情報

ブレーキシステム (BMW Motorrad ABS 装備) .....	70
エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装備) .....	71

## ブレーキシステム (BMW Motorrad ABS 装備)

### ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。このような状況になる前に、ABS が介入して、ブレーキ圧を伝達される最大ブレーキフォースに適応させます。それによりホイールが回転し続け、路面状態に関

係なく走行安定性が維持されま

### 凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こりえます。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このときBMW Motorrad ABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数（ぬかるみ、凍結、雪の場合）をかなり低く見積もっています。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

## リヤホイールの浮き上がり

減速力が著しく強く、かつ、減速が迅速な場合、状況によっては、BMW Motorrad ABS はリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの転倒もありえます。



急激なブレーキングを行うと、リヤホイールが浮き上がるおそれがあります。ブレーキング時には、ABS 制御がリヤホイールの浮き上がりをいかなる状況でも必ず防ぐことができるというわけではない、ということに注意してください。◀

## BMW Motorrad ABS はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。このシステムは、オフロードレースやレーストラック

の過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。

## 特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントおよびリアホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ABS 機能が停止し、ABS の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad ABS の問題の他にも、特殊な走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合があります。

### 特殊な運転 / 走行状態:

- 長時間の後輪走行 (ウィーリー)。
- フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転 (空転) (バーンアウト)。

- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する。
- 長時間のリアホイールのロック (オフロード走行時など)。

上記のいずれかの運転 / 走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能はイグニッションを ON / OFF にすることにより再び作動状態にできます。

## 定期的なメンテナンスの役割りとは?

 技術システムはすべて、常に良好な整備状態にしておいてください。

BMW Motorrad ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず遵守してください。◀

## 安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad ABS により制動距離が短くなるからといって、不用意にブレーキングすることは避けなければなりません。あくまでも緊急事態においてより高い安全性を確保するためのものなのです。

コーナリング時のブレーキングには特に注意してください。コーナリング時にブレーキをかけると、モーターサイクルの重量と慣性が勝り、BMW Motorrad ABS といえどもその影響を補正することはできません。

## エンジンマネジメントシステム (BMW Motorrad ASC 装備)

- ASC<sup>OE</sup> 装備

## ASC はどのように作動するのでしょうか？

BMW Motorrad ASC は、フロントおよびリヤホイールのホイールスピードを比較します。スピードの差からスリップを、さらにリヤホイールの安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

## BMW Motorrad ASC はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ASC は、公道走行時にライダーをサポートするアシストシステムとして設計されています。特に物理的限界領域において、ライダーが ASC の制御性能に与える影響は多大なものです（コーナーでの荷重移動、積載状態など）。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求

を満たすために設計されたものではありません。このような場合には、BMW Motorrad ASC を OFF にすることができます。



ASC を装備していても、物理学の法則は有効です。どのような走行スタイルを適切にするか、ライダーの責任が問われます。

安全のためのサポートを、リスクな走行により、元の状態に制限しないでください。◀

## 特殊な状況

車体の傾きが増すに従って、物理的作用により、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が遅れる場合があります。

リヤホイールの回転（空転）やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。一定の時間以上、検知される値が正常でない場合、安全のために ASC 機能

は OFF になり、ASC の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。次のような、通常とは異なる運転 / 走行状態では、BMW Motorrad ASC が自動的に OFF になる場合があります。

### 特殊な運転 / 走行状態：

- ASC が作動していない状態で長時間の後輪走行（ウィーリー）。
- フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転（空転）（バーンアウト）。
- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する。

イグニッションを OFF にしてから ON にして 5 km/h 以上で走行すると、ASC は再び作動します。◀

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまでASCがエンジントルクを抑えます。

このような場合、BMW Motorradは、スロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転 / 走行状態に戻すよう、お勧めします。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンプレーキトルクによりリヤホイールがロックされ、不安定な運転 / 走行状態に陥る場合があります。このような状態では、BMW Motorrad ASCによる補正を行うことはできません。



## アクセサリ

一般的な情報 .....	76
電源ソケット .....	76
荷物 .....	77
ケース .....	77
トップケース .....	80

## 一般的な情報

BMW Motorrad は、部品やアクセサリについて、あなたのモーターサイクル用に BMW が承認した純正品をご使用になることをお勧めします。

BMW 純正部品およびアクセサリのご購入、それらに関連する専門的なアドバイスにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにお尋ねください。

これらの部品やアクセサリは、BMW により、その安全性、機能性、適性に関する試験が実施されています。それらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。

BMW 純正品以外の部品やアクセサリにつきましては、BMW は責任を負いかねます。

フレーム制御システムにおけるタイヤサイズの重要性についての注意事項を確認し、遵守してください (▶▶ 97)。



BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW モーターサイクルにおいて安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、この保証は付与されません。点検にあたっては、常にBMW モーターサイクルにおけるすべての使用条件を考慮に入れるということとはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。必ず、BMW が BMW モーターサイクル用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。◀

変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

## 電源ソケット

電源ソケットの使用上の注意:

### 自動停止

以下の状況では、電源ソケットは自動的に OFF になります:

- 車両の始動性能を保持するには、バッテリー電圧が不足している場合
- テクニカルデータで規定されている最大定格負荷を超過している場合
- 始動動作中

### 追加装備機器の使用

電源ソケットに接続されている追加装備機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。その後でイグニッションを OFF にしても、追加装備機器は作動状態のままになります。イグニッションをオフにしてから約 15 分後に、車両電気システム全体の負荷解除のため、チャージプラグコネクタがオフになります。

電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。これらの場合、イグニッションオフ後にしばらく経ってからチャージプラグコネクターがオフに切り替わります。

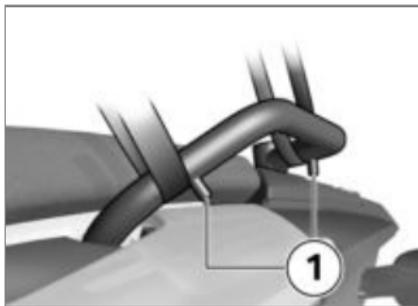
### ケーブルの取り回し

電源ソケットから追加装備機器間のケーブルは、以下のことに注意して、取り回してください。

- ライダーの妨げにならないこと
- ハンドルバーの動きやハンドリング性能を制限しないこと
- 挟み込まれるおそれのないこと

## 荷物

### 荷物を固定する



- ラゲッジベルトを、車両と滑り止め **1** の間に通します。



- ラゲッジベルト **2** を、ラゲッジロールの図に表示されているように取り回します。
- 荷物が確実に固定されているか点検します。

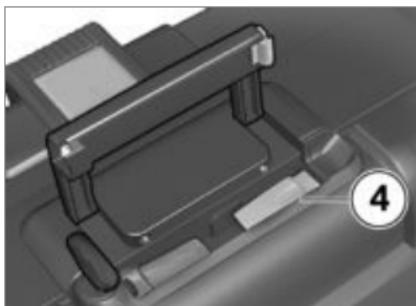
## ケース

- ケース<sup>OA</sup> 装備

## ケースを開く



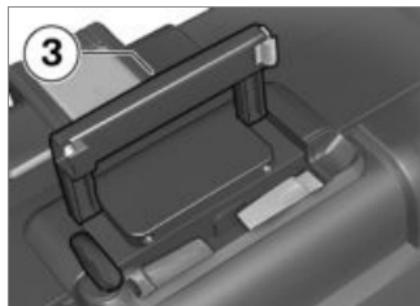
- キー **1** をケースロックに差し込み、進行方向に対して直角に回します。
- ロック **2**(黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



- ボタン **4**(黄/橙) を押し上げながら、ケースリッドを開きます。

## ケースを閉じます

- キーをケースロックに差し込み、進行方向に対して直角に回します。
- ケースリッドを閉じます。
- » リッドのはまる音がします。



- ⚠ ケースロックが進行方向に対して縦になっている時に、キャリングハンドルを閉じると、キャッチロックが損傷することがあります。

キャリングハンドルを閉じる前に、ケースロックが進行方向に対して直角になっているか確認してください。◀

- キャリングハンドル **3** を閉じます。
- キーをケースロックに差し込み、進行方向へ回して抜き取ります。

## ケースの容量を調整する

- ケースを開き、空にします。

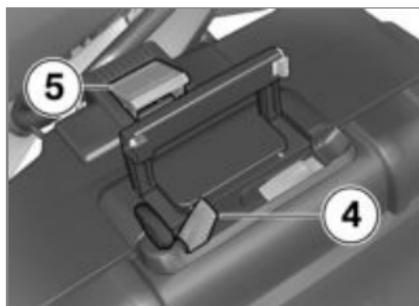


- スイングレバー **1** を上側終端位置にかみ合わせ、小さい方のボリュームになるようにします。
- 大きい方の容量にするため、スイングレバー **1** を下側終端位置にかみ合わせます。
- ケースを閉じます。

## ケースを取り外す



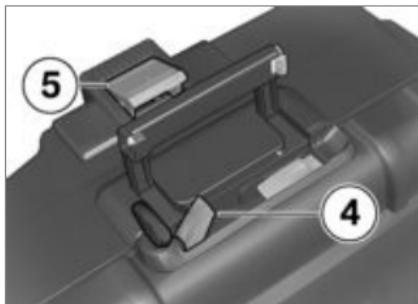
- キー **1** をケースロックに差し込み、進行方向に対して直角に回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



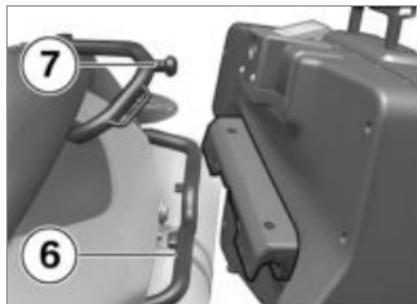
- ロック解除レバー (赤) **4** を引き上げます。  
» ロックフラップ **5** が飛び出します。
- ロックフラップを完全に開きます。
- キャリングハンドルを持って、ケースをホルダーから外します。

## ケースを取り付ける

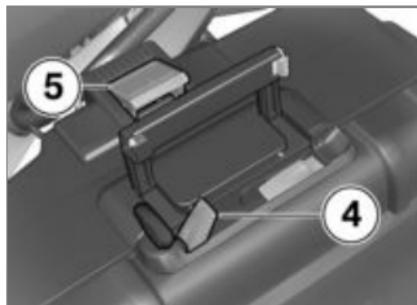
- キーをケースロックに差し込み、進行方向に対して直角に回します。



- ロックフラップ **5** を完全に開きます。その際、必要に応じてロック解除レバー **4** (赤) を引き上げます。



- ケースをケースホルダー **6** に組み込み、サポート **7** の方へストッップ位置まで動かします。



- ロックフラップ **5** をストッップ位置まで押し下げて保ちます。

- ロック解除レバー **4** (赤) を押し下げます。
- » ロックフラップ **5** がかみ合います。

**!** ケースロックが進行方向に対して縦になっている時に、キャリングハンドルを閉じると、キャッチロックが損傷することがあります。キャリングハンドルを閉じる前に、ケースロックが進行方向に対して直角になっているか確認してください。◀

- キャリングハンドルを閉じます。
- キーを進行方向へ回して抜き取ります。

## トップケース

— トップケース<sup>OA</sup> 装備

## トップケースを開く



- トップケースロックのキー **1** を垂直に回します。
- ロック **2**(黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



- ボタン **4**(黄) を前方向へ押しながら、トップケースリッドを押し上げます。

## トップケースを閉じる

- トップケースロックのキーを垂直に回します。



- トップケースリッドを強く押しつけて閉じます。

**⚠** トップケースロックの向きが水平になっている時に、キャリングハンドルを閉じると、キャッチロックが損傷するおそれがあります。  
キャリングハンドルを閉じる前に、トップケースロックの向きが垂直になっているか確認してください。◀

- キャリングハンドル **3** を閉じます。  
» キャリングハンドルがはまる音が聞こえます。

- トップケースロックのキーを、水平に回して引き抜きます。

### トップケース容量を調整する

- トップケースを開き、空にします。



- 大きい方の容量に調整するため、スイングレバー **1** を前側終端位置にかみ合わせます。
- 小さい方の容量に調整するため、スイングレバー **1** を後ろ側終端位置にかみ合わせます。
- トップケースを閉じます。

### トップケースを取り外す



- トップケースロックのキー **1** を垂直に回します。
- ロック **2** (黄) を押したまま、キャリングハンドル **3** を上に開きます。



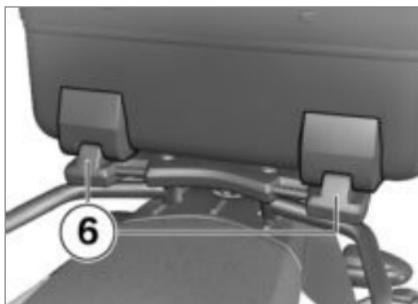
- レバー **4** (赤) を後方へ引きま
- す。
- » ロックフラップ **5** が飛び出
- します。
- ロックフラップ **5** を完全に
- 開きます。
- キャリングハンドルを持って、
- トップケースをホルダーから
- 外します。

### トップケースを取り付ける

- トップケースロックのキーを垂
- 直に回します。



- ロックフラップ **5** を完全に開きます。その際、必要に応じてロック解除レバー **4** (赤) を後方へ引きます。



- トップケースをトップケースリテーニングプレートの前側ホルダー **6** に掛けます。
- トップケース後部をトップケースホルドプレートの上に押し付けます。



- ロックフラップ **5** をストップ位置まで閉じて保ちます。
- ロック解除レバー **4** (赤) を前方向へ押します。
  - » ロックフラップがロックします。

**!** トップケースロックの向きが水平になっている時に、キャリングハンドルを閉じると、キャッチロックが損傷するおそれがあります。キャリングハンドルを閉じる前に、トップケースロックの向きが垂直になっているか確認してください。◀

- キャリングハンドルを閉じます。
- キーを水平に回して抜き取ります。

## メンテナンス

一般的な情報 .....	86
ツールキット .....	86
エンジンオイル .....	87
ブレーキシステム .....	89
クーラント .....	92
クラッチ .....	93
リムとタイヤ .....	94
チェーン .....	95
ホイール .....	97
フロントホイールスタンド .....	104
バルブ .....	105
フェアリング部 .....	111
エアクリナー .....	112
ジャンプスタート .....	113
バッテリー .....	114

## 一般的な情報

「メンテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

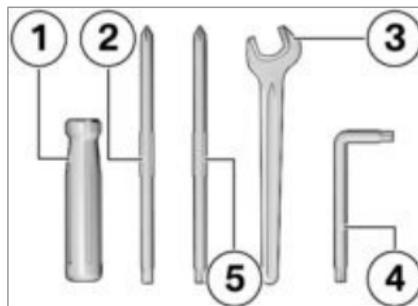
取り付ける際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様（諸元）」の章にあります。

さらに詳しいメンテナンスおよび修理作業に関する情報は、ご使用の車両に対応する DVD 版リペアマニュアルをご覧ください。リペアマニュアルは BMW Motorrad ディーラーで入手できます。

記述されている作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

## ツールキット

### 標準ツールキット



1 ドライバーグリップ

- 2 リバーシブルブレードドライバースター  
プラスおよびマイナスヘッドブレード付き  
- LED ウィンカー OE 非装備  
- フロント / リヤウィンカーバルブを交換する (▶▶ 108).  
- ライセンスプレートライトバルブを交換する (▶▶ 110).  
- バッテリーを取り外す (▶▶ 116).
- 3 オープンエンドレンチ  
口径 17  
- ミラーアームを調整する (▶▶ 45).
- 4 トルクスレンチ T40  
- 光軸を調整する (▶▶ 50).

- 5 リバーシブルブレードドラ  
イバーインサート  
プラスブレードおよびトル  
クス T25 付き  
- センターフェアリングを  
取り外す (▶▶ 111).

## ツールサービスセット

- サービスツールキット<sup>OA</sup> 装備



さらに行われるサービス作業  
(ホイールの脱着など) のため  
に、BMW Motorrad ではあなた  
のモーターサイクルに対応する、  
適切なツールサービスセットを  
ご用意しています。このツール

キットはBMW Motorrad ディー  
ラーでお求めいただけます。

## エンジンオイル

### エンジンオイルレベルを点検 する

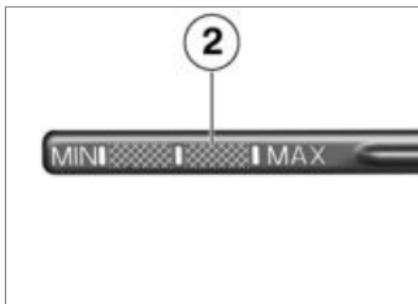
**!** オイルレベルはオイル温  
度により変化します。温度  
が高くなるにつれて、オイルパ  
ン内のオイルレベルも上昇しま  
す。エンジン冷間時や短時間走  
行した後にオイルレベルの点検  
を行うと、正確なレベルを測定で  
きないため、間違ったオイル量で  
エンジンを作動する原因となり  
ます。  
エンジンオイルレベルを正確に表  
示させるため、必ず長時間走行し  
てからオイルレベルを点検して  
ください。◀

- オイル注入口周辺を清掃しま  
す。
- ファンが作動を始めるまでエン  
ジンをアイドル回転させ、  
さらに 1 分間作動させます。

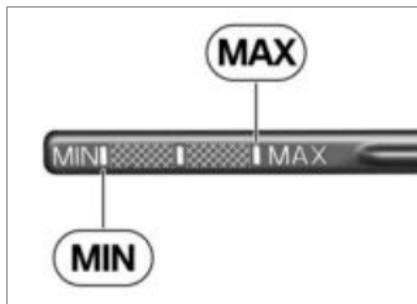
- エンジンを停止させます。
- 平坦で、固くしっかりとした路  
面に、作動温度に達している  
モーターサイクルをまっすぐに  
立てます。  
- メイン (センター) スタンド<sup>OE</sup>  
装備
- 平坦で、固くしっかりとし  
た路面に、作動温度に達して  
いるモーターサイクルをメイン  
(センター) スタンドで立てま  
す。◀



- オイルレベルゲージ **1** を取り  
外します。



- 測定範囲 **2** を乾いた布で拭きます
- オイルレベルゲージをオイル注入口に載せます。ただし、まだねじ込まないでください。
- オイルレベルゲージを抜き取り、オイルレベルを読み取ります。



エンジンオイル規定レベル

— 最低レベル (MIN) と最高レベル (MAX) のマーク間

オイルレベルが MIN マークを下回っている場合:

- エンジンオイルを補充する (▶▶▶ 88)。

オイルレベルが MAX マークを上回っている場合:

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

- オイルレベルゲージを取り付けます。

## エンジンオイルを補充する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- 注入口周辺を清掃します。



- オイルレベルゲージ **1** を取り外します。

**!** エンジンオイルは多すぎても少なすぎても、エンジンを損傷するおそれがあります。エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀

- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。
- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 87)。
- オイルレベルゲージを取り付けます。

## ブレーキシステム

### ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。
  - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- ブレーキペダルを操作します。
  - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

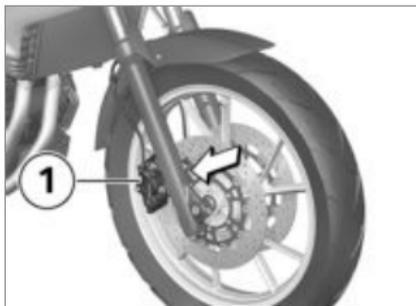
はっきりした抵抗が感じられない場合:

**⚠** 作業が正しく行われな  
い場合、ブレーキシステムの  
作の確実性が損なわれます。  
ブレーキシステムに関するす  
べての作業は、専門のメカニ  
ックにお任せください。◀

- BMW Motorrad ディーラーに  
ブレーキシステムの点検を依  
頼してください。

### フロントブレーキパッド厚 を点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路  
面に、モーターサイクルを駐  
車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点  
検します。目視点検方向: ホ  
イールとフロントホイールガイ  
ドの間を通して、ブレーキキャ  
リパー 1へ。



 フロントブレーキパッド  
の摩耗限度

- min 1.0 mm (ライニングの  
み (キャリアプレートな  
し)。摩耗インジケータ  
(溝) がはっきりと確認でき  
なければなりません。)

摩耗インジケータがはっきり  
と見えない場合:

**⚠** パッドの使用限度厚を下  
回ると、ブレーキ性能が低  
下し、場合によってはブレーキ  
が損傷します。

ブレーキシステムの動作信頼性

を確実にするため、使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

### リヤブレーキパッド厚を点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後方か

らブレーキキャリパー 1 の内側。

リヤブレーキパッドの摩  
耗限度

- min 1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。)

ブレーキパッドが摩耗している場合:

**!** パッドの使用限度厚を下回ると、ブレーキ性能が低下し、場合によってはブレーキが損傷します。

ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

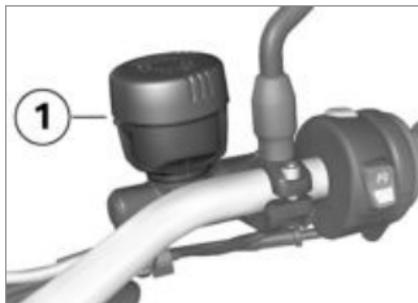
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

### フロントブレーキフルードレベルを点検する

**!** ブレーキフルードリザーバータンクのフルードが不足している場合、ブレーキシステム内にエアが入り込むおそれがあります。これは、ブレーキ性能が著しく低下する原因となります。

ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- メイン (センター) スタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◀
- ハンドルを直進位置にします。



- フロントブレーキフルードリザーバタンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。

▶ ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバタンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



	フロントブレーキフルードレベル (目視点検)
- ブレーキフルード (DOT4)	
- ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。	

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合:

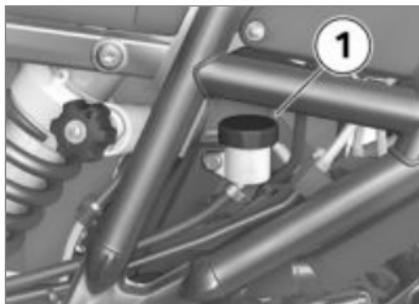
- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

## リヤブレーキフルードレベルを点検する

**⚠** ブレーキフルードリザーバタンクのフルードが不足している場合、ブレーキシステム内にエアが入り込むおそれがあります。これは、ブレーキ性能が著しく低下する原因となります。

ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- メイン (センター) スタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◀



- リアブレーキフルードリザーバタンク **1** のブレーキフルードレベルを読み取ります。

▶ ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバタンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



リザーバブレーキフルードレベル (目視点検)

– ブレーキフルード (DOT4)

– ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合:

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

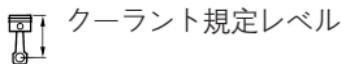
## クーラント

### クーラントレベルを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- リザーバタンク **1** のクーラントレベルを読み取ります。目視点検方向: 前方からウィンドシールドと右サイドフェアリングの間。



クーラント規定レベル

- 不凍液

- リザーバータンクの「MIN」と「MAX」マーク間

クーラントレベルが規定値を下回った場合:

- クーラントを補充します。

## クーラントを補充する



- リザーバータンクの外れ止め **1** を開きます。
- 適切なファンネルを使用して、クーラントを規定レベルまで補充します。
- リザーバータンクのキャップを閉じます。

## クラッチ

### クラッチの機能を点検する

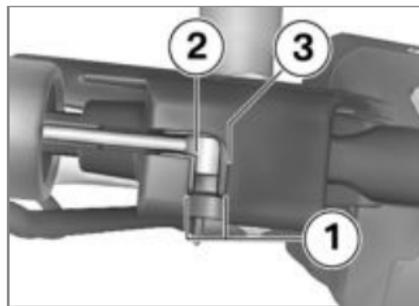
- クラッチレバーを操作します。
- » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

抵抗がはっきりと感じられない場合:

- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

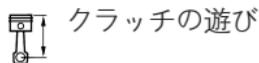
### クラッチの遊びを点検する

- ハンドルを直進位置にします。



- クラッチレバーを抵抗が感じられるまで操作し、その際にハンドルバーフィッティングの切欠き **1** を観察します。
- » ケーブルマウントのエッジ **2** がハンドルバーフィッティング

のエッジ **3** まで動かなければなりません。

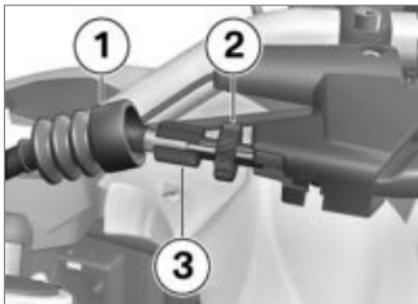


- 5 mm (ハンドルバーがまっすぐになっている)

クラッチの遊びが許容範囲を越えている場合:

- クラッチの遊びを調整する (▶▶▶ 94).

### クラッチの遊びを調整する



- ラバーズリーブ **1** を脇にずらします。
- ナット **2** を外します。

- クラッチの遊びを大きくするには: 調整ボルト **3** をハンドルバーフィッティングにねじ込みます。
- クラッチの遊びを小さくするには: 調整ボルト **3** をハンドルバーフィッティングから回して緩めます。
- クラッチの遊びを点検する (▶▶▶ 93).
- ナット **2** を締め付け、調整ボルト **3** を固定します。
- ラバーズリーブ **1** をナット上に引きます。

### リムとタイヤ

#### ホイールリムを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラー

に点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

### タイヤのトレッド溝の深さを点検する

 **!** トレッドが法定の最小残残溝量に達していない場合でも、モーターサイクルの走行特性はすでに低下しているおそれがあります。タイヤは、トレッドが最小残溝量に達する前に交換してください。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。

 ▶ それぞれのタイヤには摩耗インジケーターがあり、メインのトレッド溝に組み込まれています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで

達している場合は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合:

- 当該タイヤを交換します。

## チェーン

### チェーンにグリースを塗布する

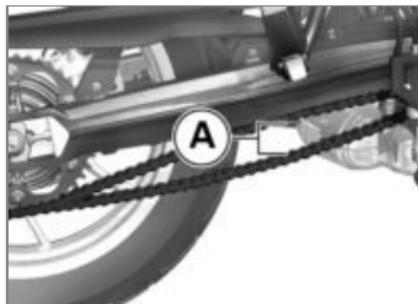
 汚れ、塵埃、不十分な潤滑は、ドライブチェーンの寿命を著しく短くします。ドライブチェーンは定期的に清掃し、潤滑してください。◀

- ドライブチェーンには、少なくとも 1000 km ごとにグリースを塗布します。ぬかるみや、塵埃の中や、汚れた場所を走行した後は、適宜、早めに実行してください。

- イグニッションを OFF にし、ニュートラルに設定します。
- ドライブチェーンを適切なクリーニング剤で清掃し、乾かして、チェーン潤滑剤を塗布します。
- 潤滑剤が多すぎた場合は洗います。

### チェーンのたるみ量を点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- リヤホイールを回転させて、チェーンのたるみが一番小さくなる位置まで回します。



- チェーンをドライバーで上下に押し、偏差 **A** を測定します。

 チェーンのたるみ量

– 30...40 mm (モーターサイクルをサイドスタンドで立てる (無負荷状態) )

– ローダウンサスペンションOE 装備

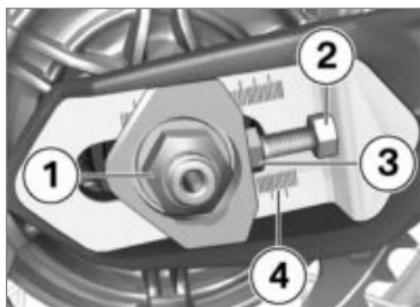
– 20...30 mm (モーターサイクルをサイドスタンドで立てる (無負荷状態) )◀

測定値が許容範囲を超えている場合:

- チェーンのたるみ量を調整する (▶▶▶ 96).

### チェーンのたるみ量を調整する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。



- アクスルシャフトナット **1** を緩めます。
- ロックナット **2** (左右) を外します。

- 左右のアジャストスクリュー **3** で、チェーンの張り具合を調整します。
- チェーンのたるみ量を点検する (▶▶▶ 95).
- 調整値 **4** が左右で同じになるように注意してください。
- 左右のロックナット **2** を締付けトルクで締め付けます。

 ドライブチェーンテンションボルトのロックナット

- 19 Nm

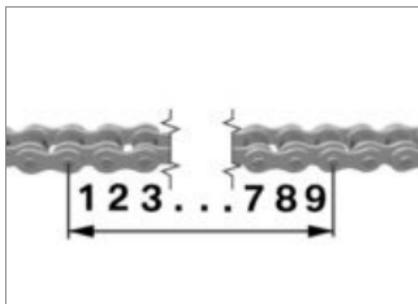
- アクスルシャフトナット **1** を締付けトルクで締め付けます。

 スイングアーム内リヤホイールアクスルシャフト

- 100 Nm

### チェーンの摩耗状態を点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- 1 速に入れます。
- リヤホイールを進行方向に回し、チェーンがピンと張った状態になるようにします。
- リヤスイングアーム下側のチェーン長さは 9 リベット超あります。



許容チェーン長

- max 144.30 mm (9 リベット超の長さが測定された(チェーンを引っ張った状態))

チェーンが許容長に達している場合:

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

## ホイール 承認タイヤ

すべてのタイヤサイズに関して、特定のタイヤ製品がBMW Motorrad により検査され、走行安全性に優れているとして推奨されています。推奨以外のホイールおよびタイヤを使用した場合、BMW Motorrad はその適合性を確認していないため、走行安全性を保証することはできません。

必ず、モデルに応じてBMW Motorrad が推奨するホイールおよびタイヤを使用してください。

詳細については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

## ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響

ホイールサイズは、フレーム制御システム ABS および ASC において、重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーホイールも、装備されている制御システムに適合させる必要があります。交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なされたい場合には、事前にBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適應させることができる場合もあります。

## フロントホイールを取り外す

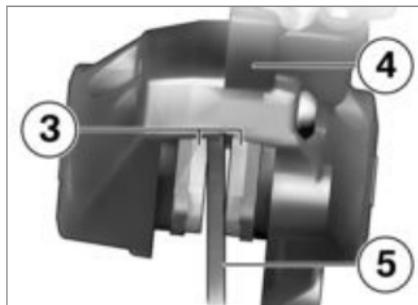
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ボルト **1** を外し、ABS センサーをボアから取り外します。



- 右ブレーキキャリパーのボルト **2** を取り外します。



- ブレーキキャリパー **4** を回転させて、ブレーキパッド **3** をブレーキディスク **5** から少し離れるように押します。

- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に傷が付かないようにします。

**⚠** 取り外した状態では、ブレーキパッドは押し压され、再度取り付ける際に、ブレーキディスクをブレーキパッド間に収めることが困難になる場合があります。

ブレーキキャリパーを取り外した状態では、ブレーキレバーを操作しないでください。◀

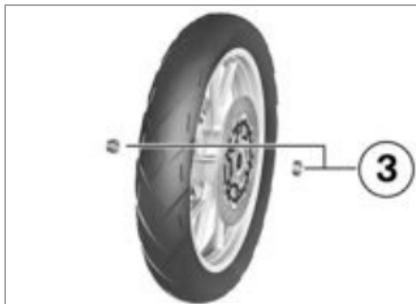
- ブレーキキャリパーを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。
- モーターサイクルを適切な補助スタンドで立てます。
- メイン (センター) スタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- フロントホイールが自由に回転できるようになるまで、モーターサイクル前部を持ち上げます。モーターサイクルを持ち上げる場合、BMW Motorrad はBMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用をお勧めします。
- フロントホイールスタンドを取り付ける(▶▶▶ 104)。



- 右側アクスルクランプボルト **1** を外します。

- シャフト **2** を取り外します。その際、ホイールを保持してください。
- シャフトに付着しているグリースは除去しないでください。
- フロントホイールを前へ転がして取り外します。



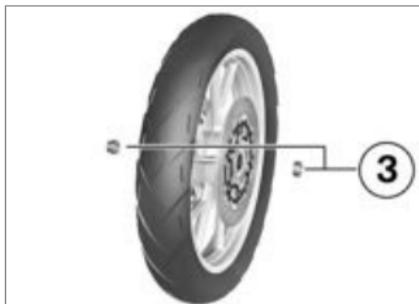
- 左右のスペーサーブッシュ **3** をホイールハブから取り出します。

## フロントホイールを取り付ける

**⚠** 標準ホイールとは異なるホイールを装着すると、ABS および ASC の制御動作において、機能障害が発生するおそれがあります。

この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システム ABS および ASC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

**⚠** ボルト締付け部の締付けトルクが不適切な場合、締付けが緩んだり、ボルト締付け部が損傷するおそれがあります。締付けトルクの点検は、必ず BMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀



- 左右スペーサーブッシュ **3** をホイールハブに取り付けます。

**!** フロントホイールは必ず回転方向に取り付けてください。

タイヤまたはホイールリム上にある回転方向を示す矢印に注意してください。◀

- ブレーキディスクが左側ブレーキキャリパーのブレーキパッド間に収まるようにしながら、フロントホイールをフロントホイールガイドに転がし入れます。



- フロントホイールを持ち上げ、シャフト **2** を規定トルクで締め付けて取り付けます。

 アクスルホルダー内フロントアクスルシャフト

- 30 Nm

- フロントホイールスタンドを取り外します。

- メイン (センター) スタンド <sup>OE</sup> 非装備

- 補助スタンドを取り外します。◀

- 右側ブレーキキャリパーをブレーキディスクに取り付けます。



- ボルト **2** を締め付けトルクで締め付けます。

 テレスコピックフォークのブレーキキャリパー

- 38 Nm



- ABS センサーをボアに組み込み、ボルト **1** を取り付けます。
- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどをはがします。
- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- スプリングフォークを数回、強く圧縮します。



- 右アクスルランプボルト **1** を規定のトルクで締付けます。


 テレスコピックフォークの固定ボルト (アクスルシャフト)

- 19 Nm

### リヤホイールを取り外す

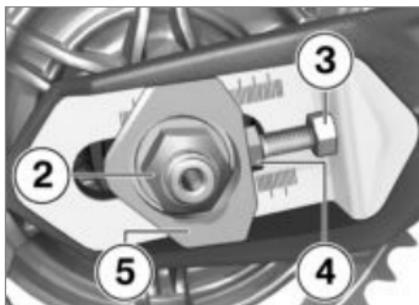
- モーターサイクルを適切なメイン (センター) スタンドで立てます。その際、路面が平坦で固くしっかりとしているか確認してください。

-メイン (センター) スタンド OE 装備

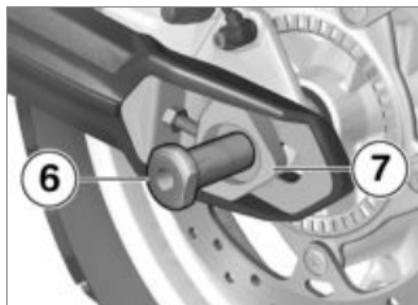
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◁



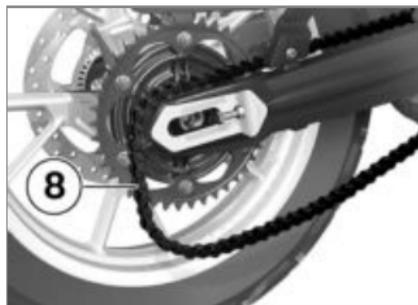
- ボルト **1** を外し、スピードセンサーをボアから取り外します。



- アクスルナット **2** を取り外します。
- 左右のロックナット **3** を、反時計回りに回して緩めます。
- 左右のアジャストスクリュー **4** を、時計回りに回して緩めます。
- 調整プレート **5** を外し、シャフトをできるかぎり内側へずらします。



- アクスルシャフト **6** を取り外し、調整プレート **7** を取り外します。



- リヤホイールをできるだけ前方向へ転がし、チェーン **8** をスプロケットから外します。

- リヤホイールをスイングアームの後方へ転がします。

▶ スプロケットと左右のスペーサースリーブは、ホイールに緩めに組み込まれています。取り外しの際に、これらの部品を損傷したり紛失したりしないよう注意してください。◀

### リヤホイールを取り付ける

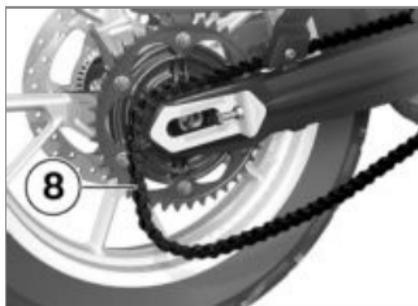
**!** 標準ホイールとは異なるホイールを装着すると、ABS および ASC の制御動作において、機能障害が発生するおそれがあります。

この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システム ABS および ASC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

**!** ボルト締付け部の締付けトルクが不適切な場合、締付けが緩んだり、ボルト締付け部が損傷するおそれがあります。締付けトルクの点検は、必ず

BMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀

- ブレーキディスクがブレーキパッドの間に収まるようにしながら、リヤホイールをスイングアームに転がし入れます。



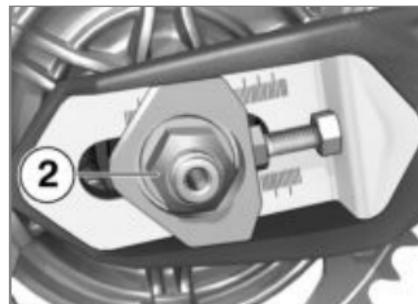
- リヤホイールをできるだけ前方向へ転がし、チェーン 8 をスプロケットに取り付けます。



- 左側調整プレート 7 をスイングアームに組み込み、アクスルシャフト 6 をブレーキキャリアおよびリヤホイールに取り付けます。
- その際、シャフトが調整プレートのノッチにはまっているか確認してください。



- 右側調整プレート 5 を組み込みます。



- アクスルナット 2 を取り付けます。ただし、まだ締め付けないこと。

- メイン (センター) スタンド OE 非装備
- 補助スタンドを取り外します。◁



- スピードセンサーをボアに組み込み、ボルト **1** を取り付けます。
- チェーンのたるみ量を調整する (▶▶▶ 96)。

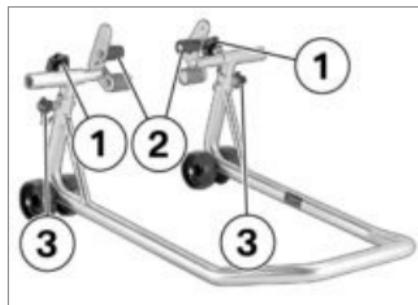
## フロントホイールスタンド

### フロントホイールスタンドを取り付ける

**!** BMW Motorrad フロントホイールスタンドは、メイン (センター) スタンドや他の補助スタンドを使用しないでモーターサイクルを保持できるように設計されていません。モーターサイクルをフロントホイールスタンドとリヤホイールのみで立てると、転倒するおそれがあります。

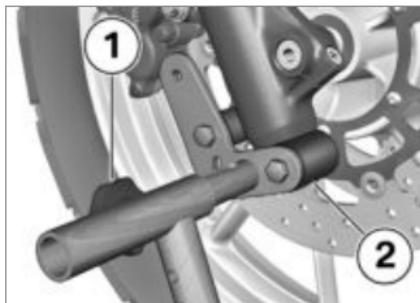
モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドで持ち上げる前に、補助スタンドで立ててください。◁

- モーターサイクルを適切な補助スタンドで立てます。
- メイン (センター) スタンド OE 装備
- モーターサイクルをセンタースタンドで立てます。◁

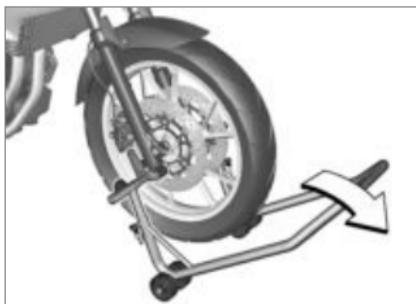


- ベーススタンド (83 30 0 402 241) を、フロントホイールサポート (83 30 0 402 242) と共に使用します。
- 調整ボルト **1** を緩めます。
- 両方の支持部 **2** を外側へ押し、フロントホイールガイドが間に収まるようにします。ピンをフロントホイールガイドに合わせて調整します。
- フロントホイールスタンドを、固定ピン **3** を使用してご希望の高さに調整します。
- フロントホイールスタンドをフロントホイールのセンターに

合わせ、フロントアクスルに押し込みます。



- 両方の支持部 **2** を、フロントホイールガイドが確実に取り付けられるように調整します。
- 調整ボルト **1** を締め付けます。



- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

ーメイン（センター）スタンドOE  
装備

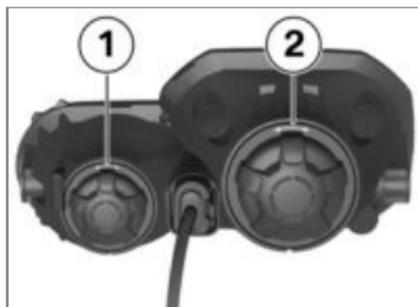
**⚠** モーターサイクル前部を持ち上げすぎると、メイン（センター）スタンドが地面から浮き上がり、モーターサイクルが横転する可能性があります。持ち上げる際には、メイン（センター）スタンドが常に接地しているように注意してください。必要に応じて、フロントホイールスタンドの高さを合わせます。◀

- モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

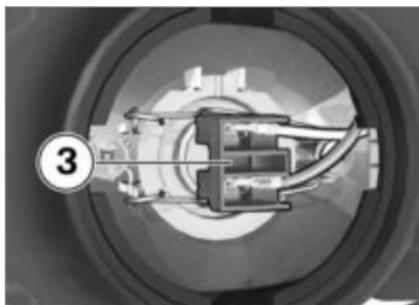
## バルブ

### ロー / ハイビームライトバルブを交換する

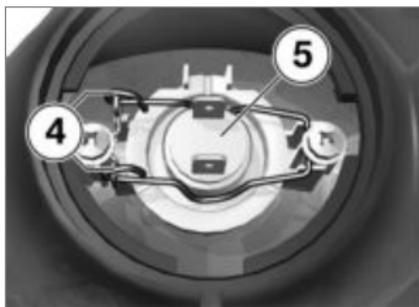
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- ハイビーム用カバー **1** またはロービーム用カバー **2** を取り外します。



- コネクター **3** を外します。



- スプリングクランプ **4** をロックから外し、横に折り曲げます。
- バルブ **5** を取り外します。

- 故障しているバルブを交換します。



ハイビーム用バルブ

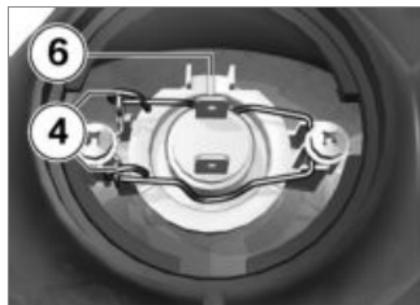
- H7 / 12 V / 55 W



ロービームのバルブ

- H7 / 12 V / 55 W

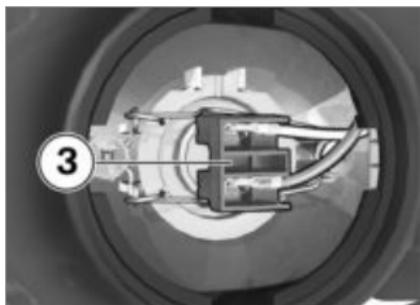
- 新品のバルブに汚れがつかないようにするため、バルブを取り扱う際はソケット部分にのみ触れるようにしてください。



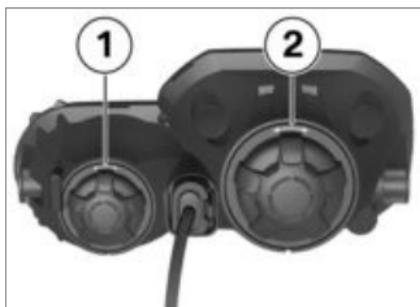
- バルブを取り付けます。その際、正しい方向（ポジション **6**）を向いているか確認します。
- スプリングクランプ **4** を閉じて留めます。

## ポジション / パーキングライトバルブを交換する

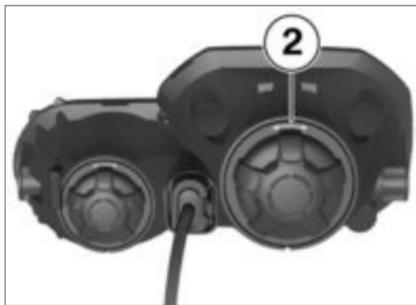
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



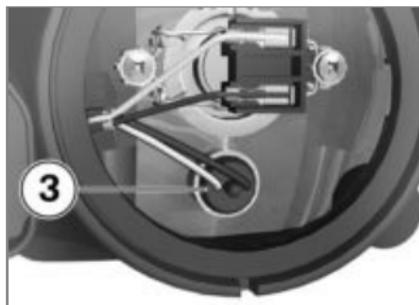
- コネクター **3** を接続します。



- カバー **1** またはカバー **2** を取り付けます。



- カバー **2** を取り外します。



- ポジション / パーキングライトバルブ **3** を、ヘッドライトハウジングから取り外します。



- バルブをバルブソケットから取り外します。

- 故障しているバルブを交換します。

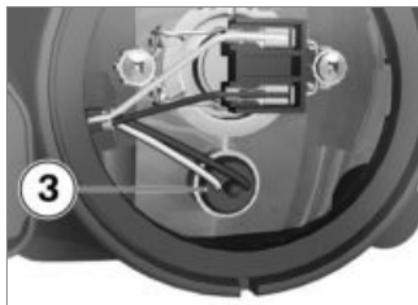

 ポジションライト / パーキングライトバルブ

– W5W / 12 V / 5 W

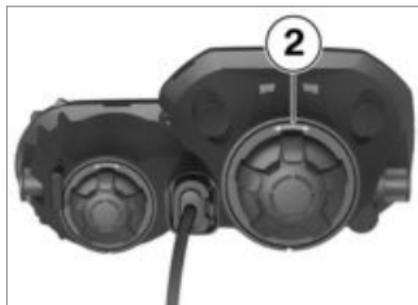
- 新品のバルブのガラス面に汚れが付かないようにするため、乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- バルブをソケットに押し込みます。



- ポジションライト / パーキングライトバルブ **3** をヘッドライトハウジングに組み込みます。



- カバー **2** を取り付けます。

## ブレーキライト / テールライトバルブを交換する

- ダイオードリヤライトは、アセンブリーでのみ交換することができます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

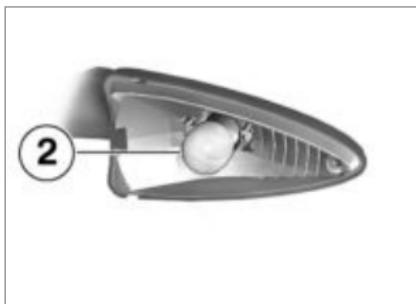
## フロント / リヤウインカーバルブを交換する

– LED ウインカー<sup>OE</sup> 非装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



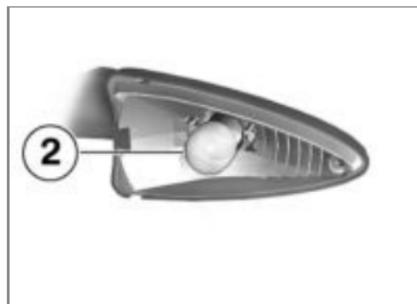
- ボルト **1** を取り外します。



- バルブ **2** を反時計回りに回し、バルブハウジングから取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。

	フロントウinker用バルブ
- R10W / 12 V / 10 W	
- LED ウinker- <sup>OE</sup> 装備	
- LED / 12 V<math>\leq</math>	

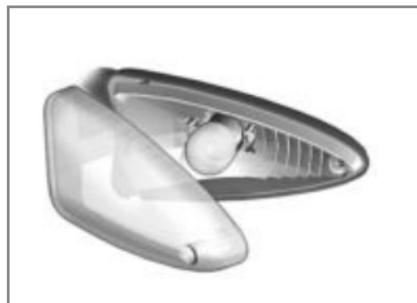
- 新品のバルブのガラス面に汚れが付かないようにするため、乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- バルブ **2** を時計回りに回し、バルブハウジングに取り付けます。



- レンズのボルト固定側をミラーハウジングから引いて外します。



- レンズをバルブハウジングにセットし、閉じます。



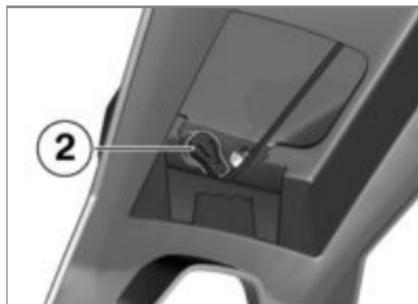
- ボルト **1** を取り付けます。

### ライセンスプレートライトバルブを交換する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- フェンダーカバーのボルト **1** を外し、カバーを取り外します。



- バルブソケット **2** をバルブホルダーから取り外します。



- バルブをソケットから取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。


 ライセンスプレートライトバルブ

— W5W / 12 V / 5 W

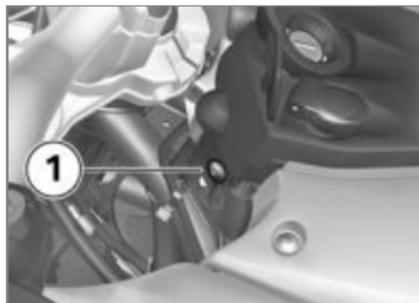
- 新品のバルブのガラス面に汚れが付かないようにするため、乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



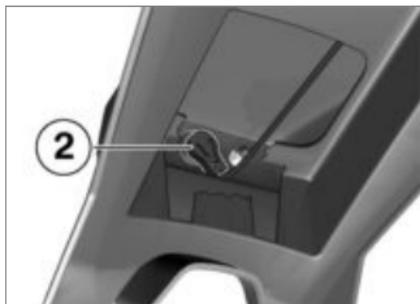
- バルブをソケットにセットします。



- フェンダーカバーを組み込み、ボルト **1** を取り付けます。



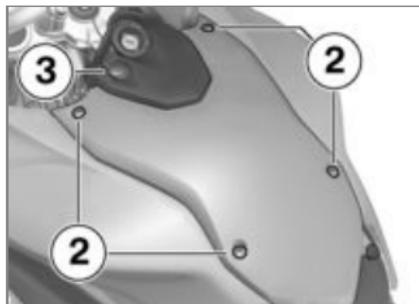
- 左右のボルト **1** を取り外します。



- バルブソケット **2** をバルブホルダーに組み込みます。

## フェアリング部 センターフェアリングを取り外す

- シートを取り外す(▶▶ 50).

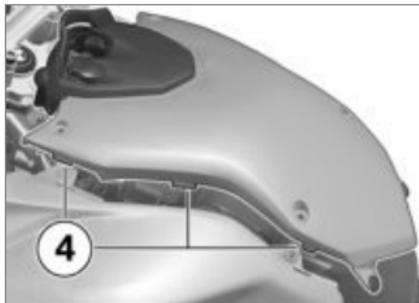


- ボルト **2** (4 本) を取り外します。
- コネクターを電源ソケット **3** から外します。

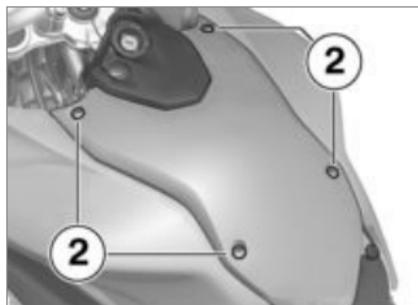
- センターフェアリングを取り外します。

## センターフェアリングを取り付ける

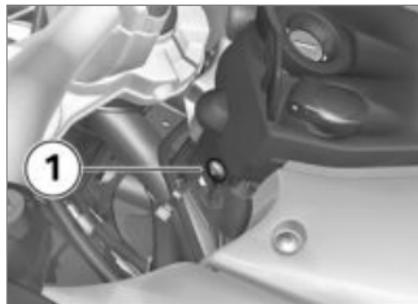
- 電源ソケットのコネクターを接続します。



- センターフェアリングを取り付けます。左右のノーズ **4** (3箇所) が、サイドフェアリングにかみ合っていることを確認してください。



- ボルト **2** (4本) を取り付けます。

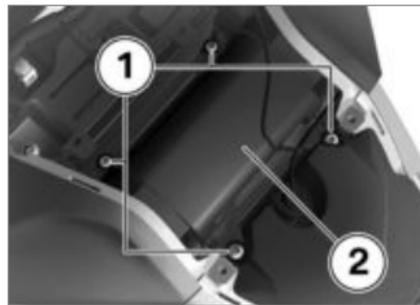


- 左右のボルト **1** を取り付けます。
- シートを取り付けます(▶▶▶ 51).

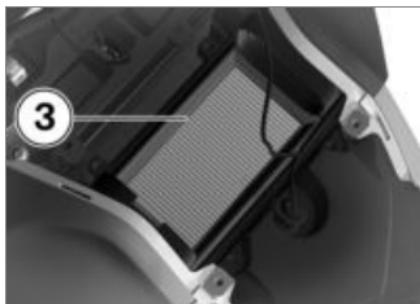
## エアクリナー

### エアクリナーを取り外す

- センターフェアリングを取り外す(▶▶▶ 111).

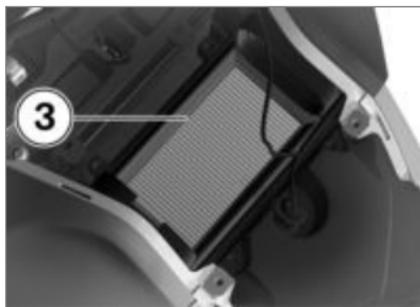


- ボルト **1** (4本) を取り外します。
- エアクリナーカバー **2** を取り外します。このためにはサイドフェアリングを少し外側に押しします。

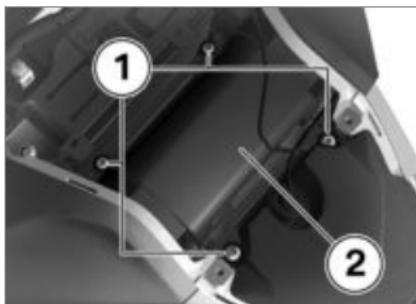


- エアクリーナー **3** を取り外します。

### エアクリーナーを取り付ける



- エアクリーナー **3** をセットします。



- エアクリーナーカバー **2** を取り付けます。このためにはサイドフェアリングを少し外側に押しします。
- ボルト **1** を平形ワッシャーと共に取り付けます。
- センターフェアリングを取り付ける(▶▶ 112)。

### ジャンプスタート

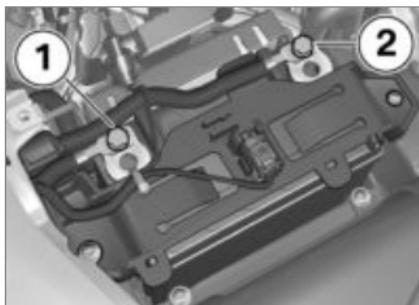
**!** 電源ソケット用電気配線の負荷容量は、他車のバッテリーなどと接続してモーターサイクルを始動させるようには設計されていません。大電流により、ケーブルから火災が発生し

たり、車両の電子機器が損傷するおそれがあります。モーターサイクルのジャンプスタートを行う際に、電源ソケットは使用しないでください。◀

**!** ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接続を誤ると、ショートが引き起こされるおそれがあります。必ず、完全絶縁タイプのクランプをつけたジャンパーコードを使用してください。◀

**!** ジャンプスタートを12Vより高い電圧で行うと、車両の電子機器が損傷するおそれがあります。供給側車両のバッテリー電圧が、12Vであることを確認してください。◀

- センターフェアリングを取り外す(▶▶ 111)。
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから外さないでください。



- ジャンパーコード（赤）の一方の先端を、まず放電したバッテリーのプラスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を供給側バッテリーのプラスターミナルに接続します（当該車両のプラスターミナル：ポジション 2）。
- ジャンパーコード（黒）の一方の先端を、まず供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナルに接続します（当該車両のマイナスターミナル：ポジション 1）。

▶ バッテリーマイナスターミナルの代わりに、サスペンションストラットのボルトを使用することもできます。◀

- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- ジャンパーコードの接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。

▶ エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類似の補助剤は使用しないでください。◀

- センターフェアリングを取り付ける(▶▶ 112)。

## バッテリー

### メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください。

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ
- バッテリーを開けない
- バッテリーに水を補充しない
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従うこと
- バッテリーを逆さまにしない

 バッテリーを接続したままにしておくと、電装品（時計など）がバッテリーを放電してしまいます。これは、バッテリーの過放電の原因になります。この場合は、保証の対象になりません。

4週間以上運転しない場合には、バッテリーにトリクルチャージャーを接続してください。◀

 BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問合せください。◀

## 接続しているバッテリーを充電する

- 電源ソケットに接続されている機器を取り外します。

 バッテリーを接続したままバッテリーターミナルから直接充電すると、車両の電子機器に損傷が生じるおそれがあります。

バッテリーターミナルからバッテリーの充電を行う場合は、その前にバッテリーを車体から取り外してください。◀

 イグニッションが ON の状態で、インジケーターおよびマルチファンクションディスプレイが消灯したままの場合は、バッテリーが完全に放電しています（バッテリー電圧 < 9 V）。完全に放電したバッテリーの充電を電源ソケットから行うと、車両の電子機器に損傷が生じるおそれがあります。完全に放電したバッテリーは、

必ず接続を外し、ターミナルから直接充電してください。◀

 バッテリーの充電を電源ソケットから行う場合は、必ず適切なバッテリーチャージャーを使用してください。不適切なバッテリーチャージャーを使用すると、車両の電子機器が故障するおそれがあります。

部品番号 98 01 0 438 800 (110 V) の BMW バッテリーチャージャーを使用してください。お手元にはない場合には、外したバッテリーを直接ターミナルから充電してください。◀

- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。

 バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

- チャージャーの取扱説明書に従ってください。

▶ 電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合、接続を外したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

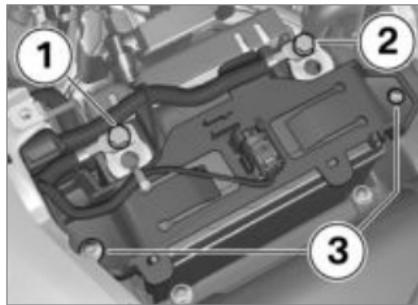
### 外したバッテリーを充電する

- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

▶ 長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合は、そのバッテリーの取扱規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

### バッテリーを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- 盗難警報装置<sup>OE</sup> 装備
- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◀
- イグニッションを OFF にします。
- センターフェアリングを取り外す(▶ 111)。



⚠ 取り外し順序を間違えると、ショートの高まります。

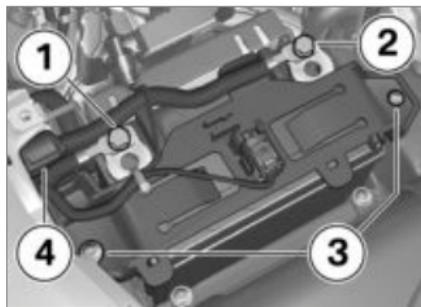
必ず作業手順を遵守してください。◀

- 先にマイナス配線 **1** を取り外します。
- その後、プラス配線 **2** を取り外します。
- 左右のボルト **3** を外し、バッテリーホルダーをバッテリーから前方に取り外します。
- バッテリーを持ち上げて取り外します。スムーズに外せない場合は、前後に動かすと外しやすくなります。

### バッテリーを取り付ける

▶ 車両からバッテリーが長時間外されていた場合、サービス表示の正常な機能を保証するため、現在の日付をメーターパネルに入力する必要があります。日付の調整に関しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

- イグニッションを OFF にします。
- バッテリーのプラスターミナルを進行方向で右側にして、バッテリーをバッテリー収納部に組み込みます。



**!** 取り付け順序を間違えると、ショートの高まり危険性が高まります。必ず作業手順を遵守してください。◀

- プラス配線 **2** を取り付けます。
- マイナス配線 **1** を取り付けます。
- センターフェアリングを取り付ける(▶▶▶ 112).
- 時計を調整する(▶▶▶ 35).

- バッテリーホルダーを取り付けます。その際、ケーブルが正しい位置 (ポジション **4**) に取り回されているか確認してください。
- 左右のボルト **3** を取り付けます。



**お手入れ**

ケア用品.....	120
洗車 .....	120
損傷しやすい車両部品のお手入れ .....	120
塗装のお手入れ.....	121
保護コーティング .....	122
長期保管.....	122
再使用 .....	122

## ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW ケア製品は、原料のテスト、製品の研究機関におけるテストや試用テストが行われています。BMW ケア製品は、あなたの車両に使用されているマテリアルのお手入れと保護を最適に行います。

 不適切なクリーナー / ケア製品を使用すると、モーターサイクルの部品が損傷するおそれがあります。ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリンをはじめ、アルコールを含んだクリーナーを清掃に使用しないでください。◀

## 洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。

 モーターサイクルを水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行したりすると、ブレーキディスクとブレーキパッドが水に濡れた状態になり、ブレーキの効きが遅くなるおそれがあります。ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾くまでは、早めにブレーキングしてください。◀

 温水を使用すると塩の化学反応が強まります。散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀

 高圧スチームクリーナーの高い水圧により、シールや油圧ブレーキシステム、電装システム、シートが損傷するおそれがあります。スチームクリーナーや高圧ジェットは使用しないでください。◀

## 損傷しやすい車両部品のお手入れ

### プラスチック

 プラスチック部品の清掃に不適切なクリーナーを使用すると、表面が損傷するおそれがあります。プラスチック部品を清掃する際には、アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。また、地面などに落ちたスポンジや、表面の硬いスポンジを使

用した場合も、損傷を招くおそれがあります。◀

### フェアリング部

フェアリング部は、水と BMW プラスチックケア製品を使用して清掃してください。

### プラスチック製ヘッドライトレンズおよびウインドシールド

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。



硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀

### クローム

クロームメッキ部分は、特に塩の作用を受けた際には、大量の水と BMW シャンプーで慎重に清掃してください。さらに処置を施す場合には、クロームポリッシャーを使用してください。

### ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。ガーデンホースなどを使い、低い水圧で清掃してください。



ラジエターのフィンは、簡単に曲がります。

ラジエターを清掃をする際には、フィンを曲げないように注意してください。◀

### ラバー

ラバー部品の清掃には、水または BMW ラバークリーナーを使用してください。



ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用すると、損傷するおそれがあります。

シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

### 塗装のお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。この場合、BMW ポリッシャーや BMW ペイントクリーナーを使用してください。

ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、

タール系の汚れには、BMW タールリムーバーをご使用になることをお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

## 保護コーティング

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW ワックスやカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。

ペイントに保護コーティングを施すべきかどうか、最もよくわかるのは、水滴が水玉にならなくなった場合です。

## 長期保管

- 洗車します。
- バッテリーを取り外す(▶▶ 116)。
- ブレーキレバー、クラッチレバー、サイドスタンドのピボット、必要に応じてメイン (セン

ター) スタンドのピボットに、適切な潤滑剤を塗布します。

- 金属部品やクロームメッキ部品に中性のグリース (ワセリン) を塗布します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します。

## 再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車します。
- 充電済みのバッテリーを取り付けます。
- 始動前に、チェックリストを確認します。

## 仕様 (諸元)

トラブルシューティング .....	124
ネジ止め部 .....	125
エンジン .....	127
燃料 .....	128
エンジンオイル .....	129
クラッチ .....	130
ギヤボックス .....	130
リヤホイールドライブ .....	131
サスペンション .....	131
ブレーキ .....	132
ホイールとタイヤ .....	133
電装システム .....	134
フレーム .....	136
寸法 .....	136
重量 .....	137

性能 .....	138
----------	-----



## ネジ止め部

フロントホイール	数値	有効
テレスコピックフォークのブレーキ キャリパー		
M10 x 40	38 Nm	
テレスコピックフォークの固定ボルト (アクスルシャフト)		
M8 x 20	19 Nm	
アクスルホルダー内フロントアクス ルシャフト		
M16 x 1.5	30 Nm	
リヤホイール	数値	有効
ドライブチェーンテンションボルト のロックナット		
M8	19 Nm	
スイングアーム内リヤホイールアク スルシャフト		
M16 x 1.5	100 Nm	

ミラーアーム	数値	有効
ロックナット (ミラー) とクランプ M14 x 1	20 Nm	
クランプマウント (ミラー) とクランプ台 M10	30 Nm	

## エンジン

エンジン型式	2気筒4ストロークエンジン、DOHC制御、ロッカーアームによる4バルブコントロール、シリンダーおよびシリンダーヘッド用リキッドクーリング、クーラントポンプ内蔵、6速マニュアルトランスミッションおよびドライサンプ潤滑方式
排気量	798 cm <sup>3</sup>
シリンダーボア	82 mm
ピストンストローク	75.6 mm
圧縮比	12:1
最高出力	55 kW, エンジン回転数: 7300 min <sup>-1</sup>
- 無鉛レギュラーガソリン (RON 91) <sup>OE</sup> 装備	52 kW, エンジン回転数: 7000 min <sup>-1</sup>
- 出力減少 35 KW なし	
- 出力減少 35 KW 付き	35 kW, エンジン回転数: 7000 min <sup>-1</sup>
最大トルク	77 Nm, エンジン回転数: 5300 min <sup>-1</sup>
- 無鉛レギュラーガソリン (RON 91) <sup>OE</sup> 装備	75 Nm, エンジン回転数: 4500 min <sup>-1</sup>
- 出力減少 35 KW 付き	60 Nm, エンジン回転数: 5000 min <sup>-1</sup>
- 出力減少 35 KW 付き	
- 無鉛レギュラーガソリン (RON 91) <sup>OE</sup> 装備	58 Nm, エンジン回転数: 5000 min <sup>-1</sup>
最高回転数	max 9000 min <sup>-1</sup>

アイドリング回転数	1250 <sup>+50</sup> min <sup>-1</sup>
-----------	---------------------------------------

## 燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) 95 ROZ/RON 89 AKI
- 無鉛レギュラーガソリン (RON 91) <sup>OE</sup> 装備	無鉛ノーマル (出力および燃費に少々制限あり) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 16 l
フューエルリザーブ容量	min 2.7 l

BMW が推奨する BP の燃料



## エンジンオイル

エンジンオイル容量	2.9 l, フィルター交換時
BMW Motorrad が推奨する製品	
BMW Motorrad High Performance オイル	SAE 15W-50, API SJ / JASO MA2
オイル添加剤	オイル添加物はクラッチ機能を悪化させるおそれがあるため、BMW Motorrad はオイル添加物の使用を認めていません。ご愛用のモーターサイクルに適したエンジンオイルについては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW recommends 

## クラッチ

クラッチの仕様	湿式多板クラッチ
---------	----------

## ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式 6 速トランスミッションをエンジンブロックに内蔵
ギヤ比	1.943 (35/68 丁) , 一次減速比 1:2.462 (13/32 丁) , 1 速 1:1.750 (16/28 丁) , 2 速 1:1.381 (21/29 丁) , 3 速 1:1.174 (23/27 丁) , 4 速 1:1.042 (24/25 丁) , 5 速 1:0.960 (25/24 丁) , 6 速

## リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブタイプ	チェーンドライブ
リヤサスペンション型式	ダブルアーム式アルミニウムキャストスイングアーム
リヤホイールドライブ歯数 (ドライブスプロケット / ドリブンスプロケット)	17 / 42

## サスペンション

### フロントホイール

フロントサスペンション型式	テレスコピックフォーク
スプリングトラベル (フロント)	170 mm, ホイールで
- ローダウンサスペンション <sup>OE</sup> 装備	140 mm, ホイールで

**リヤホイール**

リヤサスペンション型式	ダブルアーム式アルミニウムキャストスイングアーム
リヤサスペンション型式	調整式リバウンドダンピング / スプリングプリロード付きの直接連結式センタースプリングストラット
- ESA <sup>OE</sup> 装備	調整式スプリングプリロード / 電気調整式リバウンドダンピング付きの直接連結式センタースプリングストラット
スプリングトラベル (リヤホイール)	170 mm, ホイールで
- ローダウンサスペンション <sup>OE</sup> 装備	135 mm, ホイールで

**ブレーキ****フロントホイール**

フロントブレーキ型式	2ピストンフローティングキャリパーを装着した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント。
フロントブレーキパッドの素材	焼結合金

**リヤホイール**

リヤブレーキ型式	1ピストンフローティングキャリパーを装着した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクは固定式。
リヤブレーキパッドの素材	有機素材

**ホイールとタイヤ**

承認タイヤ	最新の承認タイヤ一覧につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
-------	--

**フロントホイール**

フロントホイールの仕様	アルミキャスト、MT H2
フロントホイールリムサイズ	2.50" x 19"
タイヤサイズ (フロント)	110 / 80 - 19

**リヤホイール**

リヤホイールの仕様	アルミキャスト、MT H2
リヤホイールリムサイズ	3.50" x 17"
リヤタイヤサイズ	140 / 80 - 17

**タイヤ充填圧**

タイヤ充填圧 (フロント)	2.2 bar, 1 名乗車時 (タイヤ冷間時) 2.4 bar, 2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時)
タイヤ充填圧 (リヤ)	2.4 bar, 1 名乗車時 (タイヤ冷間時) 2.8 bar, 2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時)

**電装システム**

電源ソケットの定格電気負荷	5 A
ヒューズ	全ての電気回路は、電子ヒューズにより保護されています。電子ヒューズにより電気回路が遮断された場合、故障の修理後にイグニッションを ON にすると、電気回路は再び作動状態になります。

**バッテリー**

バッテリー型式	AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリー
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah

**スパークプラグ**

スパークプラグのメーカーおよび名称

NGK DCPR 8 E

スパークプラグの電極ギャップ

0.8...0.9 mm, 新品時の状態

**バルブ**

ハイビーム用バルブ

H7 / 12 V / 55 W

ロービームのバルブ

H7 / 12 V / 55 W

ポジションライト / パーキングライトバルブ

W5W / 12 V / 5 W

テールライト / ブレーキライトバルブ

LED / 12 V

テールライトの故障 LED の最大数

6, ブレーキ / テールライト

ライセンスプレートライトバルブ

W5W / 12 V / 5 W

フロントウインカー用バルブ

R10W / 12 V / 10 W

- LED ウインカー<sup>OE</sup> 装備

LED / 12 V

リヤウインカー用バルブ

R10W / 12 V / 10 W

- LED ウインカー<sup>OE</sup> 装備

LED / 12 V

## フレーム

フレーム型式	チューブラーフレーム
型式プレートの位置	ステアリングヘッド前側上部
フレーム番号の位置	ステアリングヘッド右側

## 寸法

全長	2280 mm, フロントホイールの上、ライセンスプレートベースに向けて
全高	1343 mm, ミラーの上、ライダー非乗車時 (DIN 空車重量時)
- ローダウンサスペンション <sup>OE</sup> 装備	1308 mm, ミラーの上、ライダー非乗車時 (DIN 空車重量時)
全幅	855 mm, ハンドルバーの上、ミラー含まず
フロントシート高さ	820 mm, ライダー非乗車時 (空車時)
- ローデュアルシート <sup>OE</sup> 装備	790 mm, ライダー非乗車時 (空車時)
- ローデュアルシート <sup>OE</sup> 装備	765 mm, ライダー非乗車時 (空車時)
- ローダウンサスペンション <sup>OE</sup> 装備	

ライダーステップアーチレングス	1810 mm, ライダー非乗車時 (空車時)
- ローデュアルシート <sup>OE</sup> 装備	1760 mm, ライダー非乗車時 (空車時)
- ローデュアルシート <sup>OE</sup> 装備 - ロードダウンサスペンション <sup>OE</sup> 装備	1710 mm, ライダー非乗車時 (空車時)

## 重量

車両重量	209 kg, DIN 空車時、走行可能状態、燃料満載時の 90 %、オプション非装備
許容総重量	436 kg
- ロードダウンサスペンション <sup>OE</sup> 装備	349 kg
最大積載荷重	227 kg
- ロードダウンサスペンション <sup>OE</sup> 装備	140 kg

## 性能

最高速度	192 km/h
- 出力減少 35 KW 付き	165 km/h

## サービス

リサイクリング .....	140
BMW Motorrad サービス .....	141
BMW Motorrad モバイルサービス .....	142
メンテナンス作業 .....	142
点検記録 .....	143
一般整備記録 .....	148

## リサイクルング

### 二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」の BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは (社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

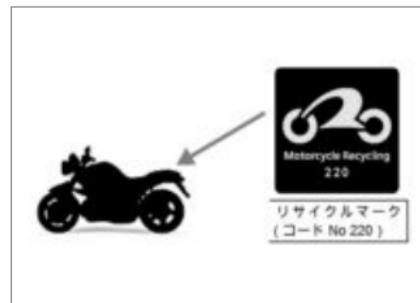
### リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク (3 cm × 3 cm) が車体 (シートの下) に貼付されている BMW Motorrad は、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、およ

び指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています。

## 二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

## 廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorradディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

### (財) 自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号 03 - 3598 - 8075
- 受付時間 9時30分～17時00分（土日祝日、年末年始等を除く）
- ホームページ <http://www.jarc.or.jp/>

## BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad の広範囲にわたるサービスネットワークは、世界100ヶ国以上でお客様とモーターサイクルへのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実にを行うための技術情報および技術的ノウハウを備えています。

最寄のBMW Motorrad ディーラーにつきましては、[www.bmw-motorrad.jp](http://www.bmw-motorrad.jp) をご覧ください。



適切でないメンテナンスや修理作業がなされた場合、損傷や安全にかかわる危険が発生します。

BMW Motorrad は、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。◀

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを順守することをお勧めします。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。また、保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

## BMW Motorrad モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます（モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など）。エマージェンシーサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

## メンテナンス作業

### BMW 納車前点検 (PDI)

BMW 納車前点検 (PDI) は、納車前に BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

### BMW 初回点検

500 km～ 1200 km の間に必ず BMW 初回点検を行ってください。◁

### BMW サービス

BMW サービスは 1 年に 1 度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次のサービス時期を登録します。

1 年間にかかりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。この場合、該当する最長走行距離が一般整備記録に追記されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

マルチファンクションディスプレイのサービス表示により、約 1 ヶ月後の登録日または 1000 km の登録距離になる前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。◁

## 点検記録

### BMW 納車前点検 (PDI)

実施済

日付 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名

### BMW 初回点検

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス  
期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名

**BMW サービス**

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名

## BMW サービス

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名

## BMW サービス

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名

## BMW サービス

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名

**BMW サービス**

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名

## BMW サービス

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名

## BMW サービス

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名

## BMW サービス

実施済

日付 \_\_\_\_\_

距離 (km) \_\_\_\_\_

次回サービス

期限

日付 \_\_\_\_\_

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
スタンプ、署名





**A**

## ABS

- 技術情報, 70
- 警告表示, 30
- 自己診断, 60
- 操作する, 42
- 操作部, 16

## ASC

- 技術情報, 71
- 警告表示, 31
- 自己診断, 60
- 操作する, 43
- 操作部, 16

**E**

## ESA

- 操作する, 48
- 操作部, 16

**P**

- Pre-Ride-Check (走行前点検), 59

**R**

## Rider's Manual

- 車両における位置, 14
- 収納場所, 52

**あ**

## アクセサリ

- 一般的な情報, 76
- 安全に関する注意事項
- ブレーキ用, 63
- ライディングにあたって, 56

**い**

## イグニッション

- OFFにする, 34
- ONにする, 34
- イグニッションキルスイッチ, 17
- 操作する, 41
- イモビライザー
- 警告表示, 28
- スペアキー, 35
- インジケーター / 警告灯
- 全体図, 22

**う**

## ウインカー

- 操作する, 40
- 操作部, 16

**え**

## エアクリナー

- 車両における位置, 15
- 取り付ける, 113
- 取り外す, 112

## エンジン

- エンジンマネジメントシステム警告表示, 29
- 始動, 59
- 仕様 (諸元), 127
- エンジンオイル
- オイルレベルゲージ, 11
- 充填レベルを点検する, 87
- 仕様 (諸元), 129
- 注入口, 11
- 補充する, 88
- エンジン回転数警告
- ONにする, 62
- インジケーター / 警告灯, 18
- エンジン回転数表示, 18

**お**

- オドメーターとトリップメーター
- 操作部, 18

- リセットする, 37
- オフロード走行, 62

- か**  
外気温度  
氷結警告, 29  
表示, 24  
型式プレート  
車両における位置, 13
- き**  
キー, 34  
記号と意味, 6  
ギヤボックス  
仕様 (諸元), 130  
救急キット  
収納場所, 14  
給油, 65
- く**  
クーラント  
異常高温用警告表示, 28  
充填レベルを点検する, 92  
フルードレベル表示, 13  
補充する, 93
- クラッチ  
遊びを調整する, 94  
遊びを点検する, 93  
機能を点検する, 93  
仕様 (諸元), 130  
ハンドルレバーを調整する, 44
- グリップヒーター  
操作する, 41  
操作部, 17
- け**  
警告灯  
全体図, 22  
警告表示  
ABS, 30  
ASC, 31  
イモビライザー, 28  
エンジン電装, 29  
盗難警報装置, 30  
バルブ故障, 29  
氷結警告, 29  
表示, 24  
フューエルリザーブ容量, 28  
冷却水温警告灯, 28  
警告表示一覧, 26

- ケース  
操作する, 77
- こ**  
コンビネーションスイッチ  
左側面, 16  
右側面, 17
- さ**  
サービス, 141  
サービス表示, 23  
サスペンション  
仕様 (諸元), 131
- し**  
シート  
取り付ける, 50  
取り外す, 50  
ロッキングハンドル, 11  
始動, 59  
操作部, 17  
車両  
再使用する, 122  
ジャンプスタート, 113  
重量  
仕様 (諸元), 137  
積載荷重一覧, 14

**仕様 (諸元)**

- エンジン, 127
- エンジンオイル, 129
- 規格, 7
- ギヤボックス, 130
- クラッチ, 130
- サスペンション, 131
- 重量, 137
- スパークプラグ, 135
- 寸法, 136
- 電装システム, 134
- 燃料, 128
- バッテリー, 134
- バルブ, 135
- ブレーキ, 132
- フレーム, 136
- ホイールとタイヤ, 133
- リヤホイールドライブ, 131
- ショックアブソーバー  
調整エレメント, 13  
調整する, 47
- シンボルマーク  
意味, 21

**す**

- ステアリングロック  
ロックする, 35
- ストップウォッチ  
操作する, 37
- スパークプラグ  
仕様 (諸元), 135
- スピードメーター, 18
- スプリングプリロード  
調整エレメント, 13  
調整する, 46  
ツール, 14
- 寸法  
仕様 (諸元), 136

**せ****全体図**

- 警告灯 / インジケーター, 22
- シート下, 14
- 左コンビネーションスイッチ, 16
- 左側面図, 11
- フェアリングの下, 15
- マルチファンクションディスプレイ, 20
- 右側ハンドルのスイッチ, 17

- 右側面図, 13
- メーターパネル, 18

**そ**

- 装備, 7

**た****タイヤ**

- 充填圧, 134
- 充填圧表, 14
- 充填圧を点検する, 49
- 仕様 (諸元), 133
- 推奨, 97
- トレッドの溝の深さを点検する, 94
- 慣らし走行, 61

**ち****チェーン**

- グリースを塗布する, 95
- たわみ量を調整する, 96
- たわみ量を点検する, 95
- 摩耗状態を点検する, 96
- チェックリスト, 58
- 駐車, 64

- つ**  
ツールキット  
車両における位置, 14  
内容, 86
- て**  
点検記録, 143  
電源ソケット  
車両における位置, 11  
使用上の注意, 76  
電装システム  
仕様 (諸元), 134
- と**  
盗難警報装置  
インジケーター / 警告灯, 18  
警告表示, 30  
時計  
操作部, 18  
調整する, 35  
トップケース  
操作する, 80  
トラブルシューティング, 124  
トルク, 125
- な**  
慣らし走行, 61
- に**  
荷物  
固定する, 77  
積載に関する注意, 56
- ね**  
燃料  
給油する, 65  
仕様 (諸元), 128  
注入口, 13  
フルードレベル表示, 23  
リザーブ容量, 23
- は**  
ハザードランプ  
操作する, 40  
操作部, 16  
バッテリー  
車両における位置, 15  
仕様 (諸元), 134  
接続しているバッテリーを充電する, 115  
取り付ける, 116  
取り外す, 116

外したバッテリーを充電する, 116  
メンテナンスに関する注意, 114

### バルブ

- ウインカーバルブを交換する, 108  
仕様 (諸元), 135  
ハイビームバルブを交換する, 105  
バルブ故障警告表示, 29  
ブレーキライトバルブ / テールライトバルブを交換する, 108  
ポジション / パーキングライトバルブを交換する, 107  
ライセンスプレートライトバルブを交換する, 110  
ロービームバルブを交換する, 105

### ひ

ヒューズ, 134

## ふ

- フェアリング
  - 中央部を取り付ける, 112
  - 中央部を取り外す, 111
- フューエルリザーブ容量
  - 警告表示, 28
- ブレーキ
  - 安全に関する注意事項, 63
  - 機能を点検する, 89
  - 仕様 (諸元), 132
  - ハンドルレバーを調整する, 44
- ブレーキパッド
  - 慣らし走行, 61
  - フロントを点検する, 89
  - リヤを点検する, 90
- ブレーキフルード
  - フロント充填レベルを点検する, 90
  - フロントリザーバタンク, 13
  - リヤ充填レベルを点検する, 91
  - リヤリザーバタンク, 13
- フレーム
  - 仕様 (諸元), 136
- フレーム番号
  - 車両における位置, 13

- フロントホイールスタンド
  - 取り付ける, 104

## へ

- 平均値
  - リセットする, 37
- ヘッドライト
  - 光軸, 50
  - 光軸を調整する, 50
  - 右側 / 左側通行, 50
- ヘルメットホルダー
  - 車両における位置, 14
  - ヘルメットをロックする, 51

## ほ

- ホイール
  - サイズ変更, 97
  - 仕様 (諸元), 133
  - フロントホイールを取り付ける, 99
  - フロントホイールを取り外す, 98
  - ホイールリムを点検する, 94
  - リヤホイールを取り付ける, 102
  - リヤホイールを取り外す, 101

- ホーン, 16
- 本書の記述について, 7

## ま

- マルチファンクションディスプレイ, 18
- 記号 (マーク / アイコン) の意味, 21
- 全体図, 20
- 操作部, 16
- 表示を選択する, 36

## み

- ミラー
  - 調整する, 45

## め

- メンテナンス
  - 一般的な情報, 86
- メンテナンススケジュール, 142
- メーターパネル
  - 周囲輝度センサー, 18
  - 全体図, 18

## も

- モーターサイクル
  - お手入れ, 119
  - 固定する, 66
  - 清掃する, 119
  - 駐車, 64
  - 長期保管, 122
- モバイルサービス, 142

## ろ

- ローダウンサスペンション  
条件, 56

## ら

- ライト
  - 操作部, 16
  - パーキングライトを操作する, 39
  - ハイビームを操作する, 39
  - パッシングライトを操作する, 39
  - ポジション / パーキングライト, 39
  - ロービーム, 39

## り

- リサイクリング, 140
- リヤホイールドライブ  
仕様 (諸元), 131

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリー、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリーなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2012 BMW Motorrad

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad, After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

Printed in Germany.

## 燃料補給用データ

### 燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) 95 ROZ/RON 89 AKI
- 無鉛レギュラーガソリン (RON 91) <sup>OE</sup> 装備	無鉛ノーマル (出力および燃費に少々制限あり) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 16 l
フューエルリザーブ容量	min 2.7 l
<b>タイヤ充填圧</b>	
タイヤ充填圧 (フロント)	2.2 bar, 1 名乗車時 (タイヤ冷間時) 2.4 bar, 2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時)
タイヤ充填圧 (リヤ)	2.4 bar, 1 名乗車時 (タイヤ冷間時) 2.8 bar, 2 名乗車および / または荷物積載時 (タイヤ冷間時)

BMW recommends 

P/No.: 01 49 8 532 293

06.2012, 1st edition



## Certification Tire Pressure Control (TPC)

---

FCC ID: MRXBC54MA4  
IC: 2546A-BC54MA4

FCC ID: MRXBC5A4  
IC: 2546A-BC5A4

This device complies with Part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

**WARNING:** Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. The term "IC:" before the radio certification number only signifies that Industry Canada technical specifications were met.